

# 医史学関係文献目録 (五十音順)

単行本

- 『医学の歴史— 古代から産業革命まで』 シンガー/アンダー  
 ウッド(著)、酒井シヅ、深瀬泰且(訳) 朝倉書店 一九八  
 五
- 『朝鮮医事年表』 三木 栄編著 思文閣出版 一九八五
- 『因伯医史雑話』 森 納 自費出版、綜合印刷出版(録印刷  
 一九八五)
- 『統、因伯の医師たち』 森 納 自費出版、綜合印刷出版  
 (録印刷 一九八五)
- 『中国古代医学思想の研究』 森田傳一郎 雄山閣 一九八五
- 『疫病と狐憑き—近世庶民の医療事情』 昼田源四郎 ち  
 ず書房 一九八五
- 『Pp. Fr. von Siebold 研究論集』 法政大学フォン・シーボ  
 ルト研究会編 法政大学出版局 一九八五
- 『日本医療社会史の研究—古代中世の民衆生活と医療』 新村  
 拓 法政大学出版局 一九八五
- 『実学史研究Ⅱ』 実学資料研究会編 思文閣出版 一九八五
- 『系統看護学講座・別巻五・看護史(改訂)』 石原明・杉田暉  
 道・長門谷洋治 医学書院 一九八五
- 『大阪医師番付集成、索引・解説』 中野操(監)・古西義麿  
 思文閣出版 一九八五

医学切手・書画

- 『神宮医方史』 久志本常孝 自家版 一九八五
- 『渋江抽斎の研究』 松木明知 自家版 一九八五
- 世界の医学切手
- ライデン大学の歴史 創設者オラニエ公ウイレム 古川  
 明 医学のあゆみ 一三二(三)中付 一九八五
- ライデン大学の歴史(二) 創立三七五年記念切手を中心に  
 古川 明 医学のあゆみ 一三二(七)中付 一九八五
- ライデン大学の歴史(三) 創立四〇〇年記念切手を中心に  
 古川 明 医学のあゆみ 一三二(一一)中付 一九八  
 五
- フンボルト兄弟とフンボルト大学(一) フンボルト兄弟  
 古川 明 医学のあゆみ 一三三(三)中付 一九八五
- フンボルト兄弟とフンボルト大学(二) フンボルト大学の  
 前身ベルリン大学の歴史 古川明 医学のあゆみ 一三  
 三(七)中付 一九八五
- フンボルト兄弟とフンボルト大学(三) 大学、アカデミ  
 ー、研究所とフンボルト財団 古川 明 医学のあゆみ  
 一三三(一一)中付 一九八五
- 国際医史学会のあゆみ(三) 古川 明 医学のあゆみ  
 一三四(一二)中付 一九八五
- 狂犬病予防のワクチン接種の成功一〇〇年 古川 明 医  
 学のあゆみ 一三五(三)中付 一九八五
- 狂犬病の研究者ボジェシュとパワン 古川 明 医学のあ

ゆみ 一三五(七) 中付 一九八五

国連の婦人運動と医学 古川 明 医学のあゆみ 一三五

(二一・一三) 中付 一九八五

切手にみる放射線医学

キュリー夫妻 大竹 久 臨床放射線 三〇(一) 一五二

一九八五

ノーベル賞七五年 大竹 久 臨床放射線 三〇(二) 二

六八、(三) 四〇九 一九八五

大量破壊兵器絶運動 大竹 久 臨床放射線 三〇(四)

五〇四 一九八五

メンデレーエフ生誕一五〇年 大竹 久 臨床放射線 三

〇(五) 五九六 一九八五

スベリー 大竹 久 臨床放射線 三〇(六) 七三三 一

一九八五

キュリー夫人死去五〇年 大竹 久 臨床放射線 三〇

(七) 七九六 一九八五

レントゲン 大竹 久 臨床放射線 三〇(九) 一〇一六

一九八五

キュリー夫妻 大竹 久 臨床放射線 三〇(一二) 一

五二二 一九八五

湯川秀樹「中間子理論」発表五〇年 大竹 久 臨床放射

線 三〇(一三) 一五三六 一九八五

医学教育  
この道あの道 適塾同窓会の写真(東京・明治九年六月一〇日)

緒方富雄 医学のあゆみ 一三五(一一) 九九二 一九八五

海上随鷗の京都蘭学塾の創設時期について 森 納 醫譚

(七二) 二四〇二八 一九八五

上田市医師会附属医学史料館報

回想記 千葉医大の頃 柳沢文秋 上田市医師会報 一五

(一) 一三〇一四、(三) 一九〇二〇、(四) 一三〇一五、(五)

一〇一七、(六) 一七〇一九、(七) 一八〇一九、(八) 一五

〇一七、(九) 一〇〇一三、(一〇) 一三〇一四 一九八五

回想記 千葉医大第二内科在局の頃 柳沢文秋 上田市医師

会報 一五(一一) 一〇一七、(一二) 一五〇一六 一九八

五

日本の医学教育略史 酒井ツヅ JAMEF 11(1) 二〇八 一

九八五

西ドイツにおける医史学教育 エドアルド・ザイドラー 日本

医史学雑誌 三一(二) 一六一〜一六四 一九八五

明治期日本医学校の女医養成について 横川弘蔵 日本医史学

雑誌 三一(二) 二四三〜二四四 一九八五

中学校における栄養学教育の始まり(明治六年・大阪) 中室

嘉祐 日本医史学雑誌 三一(二) 二四五〜二四六 一九八五

須賀川医学校 一福島県における近代医学の源流 一 松窪耕平

日本医事新報 (三一八四) 六二〜六三 一九八五

新潟医学校に関する規則 谷津三雄、大場重信、坂本嘉久 日

本歯科医史学会誌 一一(二) 五三 一九八五

東京獨案内(明治二三年四月出版)にみられる官府私立学校

北嶋まつ子、武藤優子、谷津三雄 日本歯科医史学会々誌 一  
二(一)七 一九八五

広島大学医学部への道 西丸和義 広島医 三八(五)四八三  
〜四八八 一九八五

大坂病院より大坂医学学校(大坂帝大)への発展 中室嘉祐 薬  
史誌(三〇年記念)二八 一九八五

医学用語

「法医学」なる語はいつ頃から使われたか 小関恒雄 日本医  
史学雑誌 三一(四)五二九〜五三四 一九八五

医学用語の字義字源など 金野 稔 日本医事新報 (三二一  
七)六〇〜六二 一九八五

救急法に関する二・三の用語の解題 谷津三雄、渋谷幸雄、江  
川為明 日本歯科医史学会々誌 一一(二)四七〜四八 一九  
八五

ことばの由来  
「アレギー」の講義について 飯田 収 JOHNS 一(一)  
九〇〜九一 一九八五

「病院」ことばはじめ 飯田 収 JOHNS 一(一)二〇六〜  
二〇八 一九八五

Syphilis の語源 鈴木安恒 JOHNS 一(三)三一八〜三  
一九 一九八五

「まご」の語彙 飯田 収 JOHNS 一(四)四一〇〜四  
一一 一九八五

Syndrome の語源 鈴木安恒 JOHNS 一(五)五七〇〜

五七一 一九八五  
ブラシーボ (placebo) について 飯田 収 JOHNS 一  
(六)六六二〜六六四 一九八五

Anomalad の語源 鈴木安恒 JOHNS 一(七)七八〇〜  
七八一 一九八五

扁桃の語源と手術的療法への歩み 飯田 収 JOHNS 一  
(八)八九二〜八九四 一九八五

英語とドイツ語の医学用語の語源からみた相違 Hugh E.  
Wilkinson, 訳・伊藤裕之 JOHNS 一(九)九九六〜九九  
八 一九八五

副鼻腔 (antrum) をめぐって 飯田 収 JOHNS 一(一  
〇)一一三二〜一一三四 一九八五

男子生殖腺にかんする用語の歴史の変遷—睾丸から睾丸、そして  
精巣へ— 友吉唯夫 泌尿紀要 三一(二)一九九〜二〇六  
一九八五

病名の由来  
喘息 酒井シツ Medical Technology 一三(一)五八 一  
九八五

心臓麻痺 酒井シツ Medical Technology 一三(一)一六  
七 一九八五

アレギー 酒井シツ Medical Technology 一三(四)三  
六八 一九八五

ショック 酒井シツ Medical Technology 一三(五)四四  
八 一九八五

- 甲状腺腫 酒井シヅ Medical Technology 一三(六)五六  
 七 一九八五  
 浮腫 酒井シヅ Medical Technology 一三(八)九二六  
 一九八五  
 紫斑病 酒井シヅ Medical Technology 一三(九)一〇一  
 四 一九八五  
 ヒステリー 酒井シヅ Medical Technology 一三(一〇)  
 一一二五 一九八五  
 カタル 酒井シヅ Medical Technology 一三(一一)一一  
 〇八 一九八五  
 脚氣 酒井シヅ Medical Technology 一三(一二)一一  
 九五 一九八五  
 医師会・学会  
 日本白内障学会の歩み 増田義哉 あたらしい眼科 二(五)  
 六六二～六七〇 一九八五  
 消化器内視鏡学会創設期の回顧 崎田隆夫 Gastroenterol. En-  
 doc 二七(五)七九三～八〇二 一九八五  
 日本胸部外科学会関東信越地方会創立の前後 宮本 忍 胸部  
 外科 三八(二)一一八～一二〇 一九八五  
 保険医協会の歴史と今日の医療情勢 竹内治一 健会議 三七  
 (八)二二～三二 一九八五  
 国際内分泌外科学会 その成り立ちと今までの経緯について  
 藤本吉秀 内分泌外科 一(三)四一二～四一三 一九八五  
 日本医師会小史

- 健康保険法の成立——青柳精一 日本医師会雑誌 九三  
 (一)一一一～一一三、(三)五三六～五三八 一九八五  
 健保法と医師会の対応 青柳精一 日本医師会雑誌 九三  
 (五)九五七～九五九、(七)一三六九～一三七一 一九八五  
 日医、政府と診療契約を締結 青柳精一 日本医師会雑誌  
 九三(九)一八一四～一八一六 一九八五  
 「諮問」と「建議」 青柳精一 日本医師会雑誌 九三(一一)  
 二一六六～二一六九、九四(一)一三九～一四一 一九八五  
 日医主催の医制発布五〇年記念祝典 青柳精一 日本医師会  
 雑誌 九四(三)四七八～四八〇 一九八五  
 医薬分業阻止へのたたかい 青柳精一 日本医師会雑誌 九  
 四(五)八一八～八二〇、(九)一五六七～一五六九 一九  
 八五  
 日本医師会館の建設計画 青柳精一 日本医師会雑誌 九四  
 (一一)一九九四～一九九六 一九八五  
 日本中部眼科学会の歴史 井街 讓、水川 孝 日眼紀 三  
 六(四)六七一 一九八五  
 医学学一般  
 Origin of Medical Science in Japan Shizu SAKAI 医学図  
 書館 三二(Suppl)七四～八〇 一九八五  
 古代文献に表れた老化と医療思想の史の変遷に関する研究 長  
 瀬 治 杏林医学会誌 一六(一)六九～七八 一九八五  
 日本医療福祉事業史断想 酒井シヅ 総合社会保障 二二(三)  
 三八～四一、(六)七二～七五、(一一)三七～三九、(一二)

五八～六一 一九八五

日本医学のあゆみ 宗田 一 日本医史学雑誌 三(三)二

九七～三〇二 一九八五

日本の医療文化史

軍医部制度の発足 宗田 一 Neue Informa 九(一)二七

～三三三 一九八五

東校の医育改革 宗田 一 Neue Informa 九(一)二七

三三三 一九八五

長興専斎の登場 宗田 一 Neue Informa 九(三)二七

三三三 一九八五

『医制』の公布 宗田 一 Neue Informa 九(四)二七

三三三 一九八五

ウイリスと鹿児島医学校 宗田 一 Neue Informa 九(五)

二七～三三三 一九八五

京都府療病院 宗田 一 Neue Informa 九(六)二七

三三三 一九八五

金沢の医学校 宗田 一 Neue Informa 九(七)二七

三三三 一九八五

西南戦争 宗田 一 Neue Informa 九(八)二七

(九)二七～三三三、(一〇)二七～三三三 一九八五

西南戦後のコレラ流行 宗田 一 Neue Informa 九(一

一)二七～三三三 一九八五

漢方と洋方と 宗田 一 Neue Informa 九(一二)二七

～三三三 一九八五

世界の医療文化史

神と自然の分離 宗田 一 Pharma Medica 三(一)一五

五～一五九、(二)一七九～一八四 一九八五

信仰の世紀 ビザンツ帝国 宗田 一 Pharma Medica 三

(三)一六一～一六五 一九八五

信仰の世紀 ビザンツの医学 宗田 一 Pharma Medica

三(四)一五三～一五九 一九八五

信仰の世紀 シリアにおけるヘレニズム受容 宗田 一

Pharma Medica 三(五)一三九～一四四 一九八五

信仰の世紀 イスラム世界 宗田 一 Pharma Medica 三

(六)一七九～一八四、(七)一一九～一二四、(八)一三五

～一四〇、(九)二一一～二二六 一九八五

信仰の世紀 アラビア医学の建設(続) 宗田 一 Pharma

Medica 三(一〇)一四五～一五〇 一九八五

信仰の世紀 アラビア医学の特質と貢献 宗田 一 Pharma

Medica 三(一一)一四九～一五四、(一二)一〇七～一一

一 一九八五

日本の医療史

医薬分業の問題 法改正への動き 酒井シヅ 薬事新報

(一三二〇)五一～五四 一九八五

医の倫理

Talk 人間・病・医療・科学—本巻の課題— 内田義彦、川喜田

愛郎(司会) 唄 孝一 明日の医療 九 一～二二 一九八五

「生物・人間・生命、そして医学」 川喜田愛郎 医学哲学・

医学倫理 (三) 九五～一一九 一九八五

現下西ドイツにおける医の倫理の諸問題 E・ザイドラー (Edgar Seidler) 科学医学資料研究 (三三二) 一～八 一九八五

「医の倫理」の史的考察 川喜田愛郎 科学医学資料研究 (一三三) 一～七、(一三四) 一～七、(一三五) 一～七、(一三六) 五～二二 一九八五

いわゆる「バイオエシックス」の問いかけるもの 川喜田愛郎 科学基礎論研究 一七(三) 五～二〇 一九八五

「医の倫理」といわれる Bioethic 医学史的考察―川喜田愛郎 日本医学雑誌 三二(一) 一七四～一七六 一九八五

日本における「医の倫理」 大塚恭男 日本医学雑誌 三二(一) 一七七～一八〇 一九八五

「医の倫理」を考える 品川信良 日本医学雑誌 三二(一) 一八一～一八三 一九八五

「医の倫理」ガイドラインの作成 山形敬一 日本医学雑誌 三二(一) 一八四～一八五 一九八五

吉益東洞の死生観と医の倫理について 丸山敏秋 日本医学雑誌 三二(一) 二〇四～二〇六 一九八五

医学教育への提言 守屋 正 日本医事新報 (三二七〇) 五九～六〇 一九八五

ある産胎医と「医の倫理」 森 納 日本医事新報 (三二二〇六) 六三 一九八五

医療器械

統昭和初期の医療・保健器具 長門谷洋治 大阪府医ニュース

(一) 一九八五

世界の AIE 機器の歴史

注射器 酒井シヅ カレントテラピー 三(一) 一四二～一四六 一九八五

顕微鏡 酒井シヅ カレントテラピー 三(三) 一三〇～一三二、(四) 一一五～一一八 一九八五

カテーテル 酒井シヅ カレントテラピー 三(六) 八九三～八九五 一九八五

外科用ノコギリ 酒井シヅ カレントテラピー 三(八) 一二六～一二九 一九八五

メス 酒井シヅ カレントテラピー 三(九) 一〇八～一一〇 一九八五

メス 日本のメス 酒井シヅ カレントテラピー 三(一) 一〇一～一〇三 一九八五

ファイバー光学の歴史(英文) I. Hirschowitz Gastroenterol Endosc 二七(五) 七八三～七八七 一九八五

大腸内視鏡の普及と隘路を探る 田島 強、外一名 Gastroenterol Endosc 二七(五) 八八五～八八七 一九八五

穿頭器 酒井シヅ 手術 三九(五) 四六六 一九八五

今は昔・医療機器 穿頭器(その一) 宗田 一 臨床 ME 新しい診療 九(一) 一九八五

衛生・公衆衛生

衛生公衆衛生学史とほれ話 一、別天幸兵と別天師 北 博正 公衆衛生 四九(三) 二

- 一 一 一九八五  
 二、リービヒの肉エキス 北 博正 公衆衛生 四九(四)  
 二五〇 一九八五  
 三、名画の復原 北 博正 公衆衛生 四九(四) 二六九  
 一九八五  
 四、チマチノン・ガラスの復原 北 博正 公衆衛生 四九  
 (五) 二八九 一九八五  
 五、国王の台所をうるおす 北 博正 公衆衛生 四九(五)  
 三四八 一九八五  
 六、セメントと水性ガスの改良 北 博正 公衆衛生 四九  
 (五) 三四八 一九八五  
 七、明るくなったガス灯 北 博正 公衆衛生 四九(五)  
 三五〇 一九八五  
 八、不運な周期(率)表 北 博正 公衆衛生 四九(六)  
 三九二 一九八五  
 九、化学から医化学へ 北 博正 公衆衛生 四九(六) 三  
 九二 一九八五  
 一〇、不潔なヨーロッパ 北 博正 公衆衛生 四九(七)  
 四四六 一九八五  
 一一、わが国ではどうだったか 北 博正 公衆衛生 四九  
 (八) 五二二 一九八五  
 一二、コレラさわぎ 北 博正 公衆衛生 四九(九) 六二  
 八 一九八五  
 一三、コレラに関する両雄の勝敗 北 博正 公衆衛生 四

- 九(一〇) 七〇〇 一九八五  
 一四、別天師・コッホの性格 北 博正 公衆衛生 四九  
 (一〇) 七〇〇 一九八五  
 一五、呼吸測定装置 北 博正 公衆衛生 四九(一一) 七  
 六〇 一九八五  
 一六、かずかずの榮譽 北 博正 公衆衛生 四九(一二)  
 七六〇 一九八五  
 一七、別天師の生いたち 北 博正 公衆衛生 四九(一二)  
 七九〇 一九八五  
 イギリスの老人福祉の歴史と現状 作田 勉 公衆衛生 四九  
 (四) 二七五~二七八 一九八五  
 江戸時代、東北地方鉱山の煙毒(塵肺) 三浦豊彦 日本医史  
 学雑誌 三一(二) 二〇〇~二〇二 一九八五  
 ビスコース人絹製造業における二硫化炭素中毒の対策と人脈  
 乾修然、藤田幸子 日本医史学雑誌 三一(二) 二六五~二六  
 六 一九八五  
 太平洋戦争末期の陸軍衛生事情  
 (第一報、栄養及び体力の状況について) 清水勝嘉、三宅雅  
 史 日本医史学雑誌 三一(二) 二六九~二七一 一九八五  
 (第二報患者発生の状況について) 清水勝嘉、三宅雅史 日  
 本医史学雑誌 三一(二) 二七二~二七四 一九八五  
 日本衛生学会雑誌(明治三十七年会) 創刊号から見た衛生学会に  
 ついて 岡田治夫 日本歯科医史学会々誌 一二(一) 二〇  
 ~二二 一九八五

日本産業の古典的黄燐中毒の歴史 三浦豊彦 労働科学 六一  
(五) 二二二～二三四 一九八五

眼科史

眼科諸流派の秘伝書 中泉行信、中泉行史、斎藤仁男 臨床眼科

科 三九(一) 八〇～八一、(二) 二二八～二二九、(三) 三八

六～三八七、(四) 五五四～五五五、(五) 六八六～六八七、(六)

八二六～八二七、(七) 九八二～九八三、(八) 一〇八二～一〇

八三、(九) 一一五六～一一五七、(一〇) 一二六〇～一二六一

一九八五

鵬氏新精眼科全書 中泉行信、中泉行史、斎藤仁男 臨床眼科

三九(一) 一三三〇～一三三三、(二) 一三九八～一三九九

一九八五

解剖学史

『解体新書』から現代解剖学へ

ターヘル・アナトミア翻訳のきっかけ 飯野晃啓 医学界新聞

聞 (一六三六) 二 一九八五

杉田玄白以前の日本医学『解体新書』の出版のお膳立て 飯

野晃啓 医学界新聞 (一六三七) 三 一九八五

大海に乗りだした船 船頭と乗組員たちの苦しみ 飯野晃啓

医学界新聞 (一六三八) 三 一九八五

オランダ人のばけもの前野良沢 飯野晃啓 医学界新聞 (一

六三九) 二 一九八五

万能のアイディアマン平賀源内―『解体新書』へのかかわり―

飯野晃啓 医学界新聞 (一六四〇) 四 一九八五

杉田玄白の思想と現代医学への警鐘 飯野晃啓 医学界新聞  
(一六四一) 四 一九八五

『解体新書』が与えた影響とその後の解剖学の発展 飯野晃

啓 医学界新聞 (一六四二) 五、(一六四三) 二 一九八五

Ruggiero Oddi と同括約筋の今日的意義 小野慶一 日本医史

学雑誌 三二(二) 二二四～二二五 一九八五

オランダでみつけたホテルマンの約定書とキュンストレーキ

石田純郎 北陸医史 六(二) 二～六 一九八五

看護史

一九世紀ドイツの看護教育の状況とわが国の看護教育の発達に与

えた影響について 平尾真智子、榎原正義 看教 二六(四)

二二五～二三二 一九八五

戦後看護界出来事誌 新カリキュラムの制定と実施 松本八重

子 看護 三七(五) 四八～六三 一九八五

看護教育の歴史について 雪永まさ久 看護 三七(八) 三三

～三五 一九八五

戦後看護界出来事誌

ニッパチ闘争 清水テル 看護 三七(八) 一三四～一四四

一九八五

日本産婆看護婦保健婦協会設立と機関誌「看護」創刊 大岳

康子 看護 三七(九) 一一四～一二八 一九八五

ホスピスへの遠い道 マザー・メアリー・エイケンヘッドの生涯

〔二九〕 マザー・エイケンヘッドの娘たち シドニーからの報

告 岡村昭彦 看教 二六(四) 二四四～二五一 一九八五



草創期の日赤看護教育について 吉川竜子 看教 二六(一〇)

六二四～六二八 一九八五

全国看護教育研究会兵庫支部二〇年の歩み 山崎雅代 看美

踐の科学 一〇(五) 六二～六九 一九八五

派出看護婦の歴史について 高木佐千子 クリニカルスタディ

六(九) 一〇九二～一〇九七 一九八五

北陸地方の看護の発展 (そのⅡ) 石川県における看護教育の始

まりとその変遷 萩野好子、金川克子、天津栄子、泉キヨ子

北陸医史 六(一) 二七～三〇 一九八五

石川県における看護教育のはじまり 加藤豊明 北陸医史 六

(一) 三〇～三一 一九八五

病院看護婦の勤務体制に関するアンケート調査からみた問題点と

改善方向 酒井一博、天明佳臣、進藤弘基、渡辺明彦、斉藤

一、斉藤良夫 労働科学 六一(四) 一六七～二〇五 一九八

五

軍陣医学史

「奥羽出張病院日記」の研究(承前)―戊辰戦中の一軍事病院の実

態― 佐久間温巳 醫譚 (七二) 四八～五六 一九八五

一軍医の生涯を通してみた主として明治時代の医師制度及び軍陣

医学の変遷 佐久間温巳 現代医学 三二(三) 六〇七～六

一二 三三(一) 一三一～一三五 一九八五

ウトレヒト陸軍軍医学校の我が国への影響 石田純郎、ハルム・

ポイケルス 日本医史学雑誌 三一(二) 一九三～一九五 一

九八五

外科史

昭和外科史ノート(七) 心臓血管外科低体温法から体外循環へ

宮本 忍 からの科学 (二二二) 一五一～一五六 一九八五

パトロクロスの傷を手当するアキレウス 酒井シヅ 手術 三

九(三) 三三三 一九八五

脳死体臓器提供によって始まる医療臓器移植 雨宮 浩 治療

学 一四(四) 五五三～五五五 一九八五

わが副腎外科研究の足跡 名古屋大学第二外科教室での末期乳癌

に対する副腎外科 永井良治 内分泌外科 二(二) 二五八

～二六一 一九八五

虫垂切除術の歴史 土屋周二 日本医事新報 (三二一九) 一

六五 一九八五

救急蘇生法の歴史―特に三角布について― 谷津三雄、石橋 肇、

吉田直人、武田和久 日本歯科医史学会々誌 一一(二) 四七

一九八五

胃・十二指腸潰瘍に対する迷切術 はじまりから現在まで 武

藤輝一 日外会誌 八六(一) 一～七 一九八五

華岡青洲と乳岩(乳癌) 治験(第二報) 若園房雄、外四名

薬史誌 (三〇年記念) 二五 一九八五

出血との闘い・局所止血法の歴史

古代 安藤 博 臨床外科 四〇(八) 九三〇～九三一 一

九八五

ギリシャ・ローマ時代 安藤 博 臨床外科 四〇(九) 一

〇七九～一〇八〇 一九八五

中世 安藤 博 臨床外科 四〇(一〇) 一二五九～一二六

一 一九八五

ルネッサンス時代より一八世紀まで 安藤 博 臨床外科

四〇(一一) 一三七三～一三七五 一九八五

一八世紀以降の止血法の発展 安藤 博 臨床外科 四〇

(一二) 一五三二～一五三三 一九八五

ペアン鉗子の出現 安藤 博 臨床外科 四〇(一三) 一六

七九～一六八一 一九八五

形成外科史

日本におけるオランダ人による四肢切断術 蒲原 宏 日本医

史学雑誌 三一(一) 一九〇～一九二 一九八五

植皮の歴史(三四)(最終回) 倉田喜一郎 日災医学会誌 三

三(二) 五九～六八 一九八五

下顎前突症の手術術式からみた歴史的考察(一) 園山 昇、

高森 等、熊沢康雄、外二名 日美容外会誌 二二(二) 九三

産婦人科学史

中条流産科と古川柳 山形敏一 醫譚 (七一) 一一～一五

一九八五

近世、因伯における墮胎、捨て子の悪習 森 納 日本医史

学雑誌 三一(二) 二三〇～二三二 一九八五

梶原性全と中條流の腔坐薬、その獨創性について 藏方宏昌

日本医史学雑誌 三一(二) 二三二～二三三 一九八五

助産婦の歴史 石原 力、ペリネイタル・ケア 四(二) 一〇九

～一一一、(三) 一〇七～一〇九、(四) 一〇七～一〇九、(五) 一〇一～一〇二、(六) 一〇五～一〇六、(七) 一一三～一一四 一九八五

目で見る医学の歴史

足利幕府と室町時代の産婦人科 藏方宏昌 Medical

Way 二(一) 一一〇～一一一、(三) 一一二～一一四 一九八五

中条流と安土・桃山時代の産婦人科 藏方宏昌 Medical

Way 二(四) 一二八～一三〇 一九八五

儒医と江戸時代前期の産婦人科 藏方宏昌 Medical Way

二(五) 一二二～一二四、(六) 一二八～一三〇、(八) 一一

六～一一八 一九八五

賀川玄悦と江戸時代中期の産婦人科 藏方宏昌 Medical

Way 二(九) 一二〇～一二一、(一〇) 一二八～一三〇、

(一一) 一二〇～一二一 一九八五

賀川流後継者と江戸時代後期の産婦人科 藏方宏昌 Medical

Way 二(一一) 一二八～一三〇 一九八五

歯学史

歯を洗って「甘肅彩陶」の鋸歯紋に及ぶ 杉本茂春 醫譚 (七

一) 五～一〇 一九八五

『フアブリカ』における歯の形態学の記述について 本間邦則

日本医史学雑誌 三一(二) 二二一 一九八五

民間信仰にみる楊枝の呪術性―柳田国男の著作を中心に― 丹羽

源男 日本歯科医史学会誌 一一(二) 六～一一 一九八五

日本で最初に出版されたと思われる歯科医の法的責任についての  
論説 森山徳長 日本歯科医史学会誌 一一(一)一一一  
一七 一九八五

第四回内国勸業博覧会歯科器材出品物の審査報告 大橋正敬、

竹井満久、片山幸太郎、菅原明喜、飯島清人、飯塚秀人、加藤  
保雄 日本歯科医史学会誌 一一(二)一八〇三三 一九八

五

パレ全集第一二版にみられる歯科領域の記述(四) 第一三の書

第一章、第二〇の書第二八章 高山直秀 日本歯科医史学  
会々誌 一一(二)三四〇三七 一九八五

Fauchard 書題の謎 中原 泉 日本歯科医史学会々誌 一一

(一)三八〇四三 一九八五

牙齒病の外因としての風に関する史的考察 戸出一郎 日本歯

科医史学会々誌 一一(二)四四〇四五 一九八五

うがい茶碗について 松田信隆 日本歯科医史学会々誌 一一

(二)四五 一九八五

齒刷牙の変遷 下總高次 日本歯科医史学会々誌 一一(一)

四五〇四六 一九八五

松田義美(長身)と歯科麻酔 谷津三雄、武藤優子、吉村宅弘、

八木千恵子 日本歯科医史学会々誌 一一(二)四六〇四七

一九八五

ジュルダン著『口腔の疾患および手術概論』(二七七八年刊)に

みられるフォシャル病の記述 高山直秀 日本歯科医史学

会々誌 一一(二)四八〇四九 一九八五

楊枝の呪術性について—日本民俗学の成果を中心に— 丹羽源男

日本歯科医史学会々誌 一一(二)四九〇五〇 一九八五

第二三回満州歯科医学会大会録誌より中原市五郎先生の祝辞を考  
える 葉関正造、賀屋重雅、杉本茂春 日本歯科医史学会々

誌 一一(二)五〇 一九八五

日本海軍歯科医科士官の歴史 山崎 智 日本歯科医史学会々

誌 一一(二)五〇〇五一 一九八五

木床義歯の研究—義歯・Dentureの義・字義考 永田和弘、上

野乃武弥、田中昭代、杉本茂春 日本歯科医史学会々誌 一一

(二)五一〇五二 一九八五

木刻床義歯と歴史学—これもまた一つの歴史— 永田和弘 日本

歯科医史学会々誌 一一(二)五三〇五四 一九八五

パレ全集第一二版にみられる歯科領域の記述(五)

第一七の書第二七章および第二八章 高山直秀 日本歯科医

史学会々誌 一一(三)六一〇六三 一九八五

第一七の書第二五章 高山直秀 日本歯科医史学会々誌 一一

(四)一一二〇〇一二二 一九八五

フォシャル研究資料としてのジュルダン著『口腔の疾患および

手術概論』(二七七八年刊) 高山直秀 日本歯科医史学会々

誌 一一(三)六四〇六六 一九八五

ジュルダン著『口腔の疾患および手術概論』(二七七八年刊)に

みられるフォシャル病の記述 高山直秀 日本歯科医史学

会々誌 一一(三)六九〇七一 一九八五

明治二〇年代に歯科医事法制を論じた三種の歯科出版物とその比

較について 森山徳長 日本歯科医史学会々々誌 一一(三)

七二〇七八 一九八五

第二三回滿州歯科医学会大会録誌より 中原市五郎先生の祝辭を

考える 葉間正造、賀屋重雍、杉本茂春 日本歯科医史学会

々々誌 一一(三) 七九〇八四 一九八五

Fauchard 秘められたる独訳本 中原 泉 日本歯科医史学会

々々誌 一一(三) 八五〇九四 一九八五

Fauchard その陰の三人 中原 泉 日本歯科医史学会々々誌

一一(四) 一一四〇一九 一九八五

パレ著「欠損を補整する方法」(一) 高山直秀 日本歯科医史

学会々々誌 一一(四) 一二三〇一二六 一九八五

フォシャルル手稿文の分析(一) 高山直秀 日本歯科医史学

会々々誌 一一(四) 一二七〇一二九 一九八五

石膏咬合器、初期の金属性咬合器、Bourvil 咬合器の思想的考

察歯学思想史の試み(その三) 永田和弘、大森康弘 日本

歯科医史学会々々誌 一一(四) 一三〇〇一四二 一九八五

「医心方」における口腔疾患の分類について 戸出一郎 日本

歯科医史学会々々誌 一一(一) 七〇八 一九八五

第一回日本医学会誌(明治二三年)と第二回日本医学会誌(明治

二六年)にみられる麻醉と歯科に関する発表 坂本嘉久、吉

井秀鏘、谷津三雄 日本歯科医史学会々々誌 一一(一) 八〇九

一九八五

皇記貳千六百年記念歯科医学会誌について 渋谷 敏、松本

好正、澁谷幸男、谷津三雄 日本歯科医史学会々々誌 一一(一)

九 一九八五

竹柄齒刷子補遺 下総高次 日本歯科医史学会々々誌 一二

(一) 九〇一〇 一九八五

形成外科と顎顔面補綴のはじまり 新藤恵久 日本歯科医史学

会々々誌 一二(一) 一〇 一九八五

口蓋栓塞子の歴史について 本間邦則 日本歯科医史学会々々誌

一二(一) 一〇〇一 一九八五

一八四七年頃の歯痛に関する風刺絵 石橋 肇、村木春長、金

子賢司、谷津三雄 日本歯科医史学会々々誌 一二(一) 一二〇

一三 一九八五

フォシャルル手稿の検討 高山直秀 日本歯科医史学会々々誌

一二(一) 一二〇一三 一九八五

Fauchard 手稿を見た 中原 泉 日本歯科医史学会々々誌 一

二(一) 一三 一九八五

ライオン歯磨口腔衛生部主催 第二回学校歯科医講習会講演集

(昭和五年一月東京市ニ於テ開催)について 吉村宅弘、

大場重信、谷津三雄 日本歯科医史学会々々誌 一二(一) 一三

〇一四 一九八五

高山歯科医学院講義録の書誌学 森山徳長、石川達也、長谷川

正康 日本歯科医史学会々々誌 一二(一) 一四 一九八五

ポスターの歴史と第一回ムシ歯予防デーのポスターについて

新藤恵久、高槻正男、遠藤吉雄 日本歯科医史学会々々誌 一二

(一) 一四〇一五 一九八五

第二回ムシ歯予防デー(昭和四年六月四日)の講演資料 米長

悦也、古瀬信久、谷津三雄 日本歯科医史学会々誌 一二(一)

一五 一九八五

後水尾天皇の御齒 上野乃武弥、田中照代、杉本茂春 日本齒科医史学会々誌 一二(一)一五〇一六 一九八五

ハ会長講演V齒学教育における齒学史の教授内容 谷津三雄 日本齒科医史学会々誌 一二(一)一七 一九八五

明治年代の齒科雜誌にみられる救急蘇生法 江川裕之、古城由美子、江川為明、谷津三雄 日本齒科医史学会々誌 一二(一)一七〇一八 一九八五

第四回内国勸業博覽會齒科出品物の審査結果 第二報齒磨、齒ヲランおよび楊枝について 大橋正敬 日本齒科医史学会々誌 一二(一)一八 一九八五

お齒黒の里香登をたずねて 松田信隆 日本齒科医史学会々誌 一二(一)一八〇一九 一九八五

『甘藷彩陶』の鋸齒紋について 中国考古学会に提言 杉本茂春 日本齒科医史学会々誌 一二(一)一九〇二〇 一九八五

五〇年前にもあつた齒科醫師の過剩問題 長谷川俊夫 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二一 一九八五

日本海軍齒科医科士官の歴史(II)、日露戦争と齒科医 山崎智 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二二〇二二 一九八五

笹森お仙と本柳屋お藤 本山佐太郎 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二二 一九八五

Dr. C.E. Stuart からの手紙 永田昭弘 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二二〇二三 一九八五

高山齒科医学院の学制・教科書・教授陣について 長谷川正康、森山徳長、石川達也、高添一郎、高木圭二郎 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二三〇二四 一九八五

『家庭と学校』口腔衛生「ライオン齒磨本舗(大正二年四月刊)落合俊輔、清沢美智子、藤井敏博、谷津三雄 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二五 一九八五

内務省衛生局編纂『齒と健康』仁丹の齒磨本舗発行(大正一三年一月刊) 武田和久、大島安晴、鈴木邦夫、谷津三雄 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二五〇二六 一九八五

東京府齒科醫師會編『府内小学校ニ於ケル口腔衛生ニ関スル調査』(昭和四年二月現在) 吉井秀鏘、吉田直一、八木千恵子、谷津三雄 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二六 一九八五

ハ特別講演に代えてV昭和初期の頃の學校齒科(一六頁)無声映画) 解説谷津三雄 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二六〇二七 一九八五

齒科經濟学成立の起源とその發展 森山徳長 日本齒科医史学会々誌 一二(一)二八〇二九 一九八五

パレ全集 第一二版にみられる齒科領域の記述(六) 高山直秀 日本齒科医史学会々誌 一二(一)三七〇三九 一九八五

パレ著「欠損を補整する方法」(二) 高山直秀 日本齒科医史学会々誌 一二(一)四〇〇四二 一九八五

フオンシャル手稿文の分析(二) 高山直秀 日本齒科医史学会々誌 一二(一)四三〇四六 一九八五

日本齒科医師会会報第一七号 (昭和十二年七月刊) の内容

谷津三雄、渋谷 敏、坂本嘉久、江川裕之 日本齒科医史学会  
々誌 一二(一) 四七~五〇 一九八五

鍼治必携 (明治二十二年刊) にみられる齒科領域の鍼治療 谷津

三雄、吉田直人、江川裕之、原田さえ子 日本齒科医史学会々  
誌 一二(一) 五一~五五 一九八五

類聚方函 (明治二〇年二月刊) にみられる麻酔剤と齒科用藥物

谷津三雄、石橋 肇、落合俊輔、北嶋まつ子 日本齒科医史学  
会々誌 一二(一) 五六~五八 一九八五

弓倉教授と著書 谷津三雄、米長悦也、吉村宅弘、吉田直人

日本齒科医史学会々誌 一二(一) 六二~六五 一九八五

医制百年史からみた齒科と鍼灸に関する医事 谷津三雄、原田

さえ子、武田和久、吉井秀鏑 日本齒科医史学会々誌 一二  
(一) 六六~六九 一九八五

疾病史

門脈圧亢進症研究の進歩 井口 潔 消外セミナー (一八)  
三~一三 一九八五

川崎病 (MCLS) 発見の歴史と経緯 重松逸造 小児内科 一

七(五) 六三九~六四二 一九八五

Palaeopathological Diagnosis of Bone Tuberculosis in the Lum-  
bosacral Region Takao SUZUKI 人類学雑誌 九三(III)

三八一~三九〇 一九八五

顎関節脱臼の疾病史 谷津三雄 日本医史学雑誌 三二(一)  
二二二~二二四 一九八五

『多聞院日記』に現われる皮膚疾患・化膿性疾患の検討 中村

昭 日本医史学雑誌 三二(二) 二三五~二三六 一九八五  
恙虫病研究夜話 (その三) 宮内定男 ミクロスコピア 二一

(二) 五六~五九 一九八五

アイヌの疾病とその治療法に関する研究 木下良裕 薬史誌  
(三〇) 年記念 五七 一九八五

アイヌの病因観と治療法 和田 完 薬史誌 (三〇) 年記念

五七~五八 一九八五

アイヌの疾病に対する思考について 藤村久和 薬史誌 (三〇

年記念) 五八 一九八五

史跡・記念碑

コッホ博士の訪日とコッホ記念碑 中内四郎 日本医事新報  
(三二七五) 六三~六四 一九八五

湯島聖堂安置の神農像をめぐって 矢数道明 日東洋医誌 三

五(四) 二九九~三〇二 一九八五

写真でみる医学史めぐりの旅 福井・大野の巻 中西淳朗 保

団連 (二一三) 四四~四七 一九八五

獣医学史

將軍政権下における牛疫の取扱いについて 岸 浩 日本獣  
医史学雑誌 (二〇) 一~六 一九八五

馬書多禮俱良と明鏡集との比較 長尾壮七 日本獣医史学雑誌  
(二〇) 七~一三 一九八五

毛利家文庫・馬隊之書について 岸 浩 日本獣医史学雑誌  
(二〇) 一四~二〇 一九八五

江戸期の日本犬医学と同時期の中国犬医学の比較 山口敏朗

日本獣医史学雑誌 (二〇) 二一～三六 一九八五

エドワード・ジェンナーの報告「犬のジステンパーについての観察」(一八〇九年)の紹介 添川正夫 日本獣医史学雑誌(二〇)三七～四一 一九八五

「下総御料牧場ができるまで」(七) — アップ・ジョーンズを取り

巻く日米外交顧末記(その五) — 谷垣康弘 日本獣医史学雑誌 (二〇) 四二～四八 一九八五

明治前期渡米の家畜解剖書と関連書(一) — M. Fadyean, Ganges, Huxley の著書 — 松尾信一 日本獣医史学雑誌 (二〇) 四九

一九八五

日本大学農獣医学部所蔵資料 長尾壮七 日本獣医史学雑誌 (二〇) 五〇～五三 一九八五

世界獣医史学会第二〇回国際シンポジウムについて 勝山 脩 日本獣医史学会雑誌 (二〇) 五四～五六 一九八五

種痘

牛痘法の北陸地方への普及について(第二報) 正橋剛二、松田健史 北陸医史 六(一) 四五～五六 一九八五

書翰

三浦梅園の手紙(上) — 麻田剛立宛 — 酒井シヅ 日本医史学雑誌 三一(一) 一二三～一二八 一九八五

三浦梅園の手紙(下) — 麻田剛立宛 — 酒井シヅ 日本医史学雑誌 三一(四) 五三五～五四四 一九八五

書誌学

医史学名解題

イブン・スティーナー著『医学典範』 酒井シヅ 医学図書館 三二(一) 二～三 一九八五

ガレノス 酒井シヅ 医学図書館 三二(二) 一一九～一二〇 一九八五

『解体新書』その一 ターヘル・アナトミア 酒井シヅ 医学図書館 三二(三) 二二三～二三五 一九八五

『解体新書』その二 翻訳 酒井シヅ 医学図書館 三二(四) 三四五～三四六 一九八五

医学中央雑誌の歴史と活動 — 抄録誌としての八〇年と現況 — 松永忠範、藤井章生、大山文雄、佐藤輝義 医学図書館 三二(三) 二六一～二七一 一九八五

『医学洋書総合目録』の誕生 — ユニオン・カタログ小史(五) 第三〇回総会(昭和三四年) — 第三二回総会(昭和三六年) 堀江幸司、山根 京 医学図書館 三二(三) 二七二～二八一 一九八五

河内金剛寺新出の鎌倉時代書写『医心方』巻十三について 東野治之 医心方研究発表会 — 発表要旨集 — 八～一一 一九八五

「探要方」について 三迫初男 医心方研究発表会 — 発表要旨集 — 一二～一三 一九八五

『医心方』の仙沼子 宗田 一 医心方研究発表会 — 発表要旨集 一四～一八 一九八五

『大日本史料』医心方撰進の条の編纂 石上英一 医心方研究

『大日本史料』医心方撰進の条の編纂 石上英一 医心方研究

発表会—発表要旨集— 一九 一九八五

『医心方』における口腔疾患の分類と引用文献について 戸出

一郎 医心方研究発表会—発表要旨集— 二〇～二三 一九八

五

『医心方』婦人妊娠篇から相生相剋を考える 小川 新 医心

方研究発表会—発表要旨集— 二四～二五 一九八五

『医心方』卷三十の基礎的考察 真柳 誠 医心方研究発表会

—発表要旨集— 二六～三一 一九八五

『医心方』に引く『諸病源候論』の条検討(第二報) 平馬直樹

医心方研究発表会—発表要旨集— 三二～三六 一九八五

『医心方』第二卷鍼灸編における孔穴主治症について 高島文

一 医心方研究発表会—発表要旨集— 三七～四〇 一九

八五

『医心方』と『大同類聚方』と古典文学 楨佐知子 医心方研

究発表会—発表要旨集— 四一～四四 一九八五

『医心方』の伝写についてIV卷廿二 杉立義一 医心方研究発

表会—発表要旨集— 四五～四八 一九八五

読『医心方』所引の古文獻」 小曾戸洋 医心方研究発表会—

発表要旨集— 四九～五二 一九八五

『医心方』所引の古文獻 藪内 清 醫譚 (七一) 一～四 一

九八五

『寛政二二年婦人解剖図』—その所在と文献について— 杉立義

一 醫譚 (七一) 一六～二〇 一九八五

『解体新書』の扉絵と原図の問題 磯崎康彦 科学医学資料研

究 (一二八) 一～六、(一三〇) 八～二二、(一三三) 八～

二 一九八五

ヘルムホルツの『生理光学提要』について(六) 山口宙平

科学医学資料研究 (一二八) 七～一二 一九八五

『細胞病理学』の構造(二) 梶田 昭 科学医学資料研究

(一三〇) 一～五、(一三三) 九～一、(一三四) 八～二二

一九八五

ラエンネック『ヒポクラテス論』 川喜田愛郎 科学医学資料

研究 (一三〇) 六～七 一九八五

『蔵書紹介』チャールス・ベル『脳の解剖学』 古川哲雄 科

学医学資料研究 (一二三) 九～一〇 一九八五

ベンジャミン・ラッシュ『精神疾患の医学的研究と観察』 松

下正明 科学医学資料研究 (一二三) 一～五 一九八五

『医心方』への引用回数 赤堀 昭 漢方研究 (九) 二九～三

六 一九八五

香月牛山著『婦人寿草』上巻二 小野正弘 漢方の臨床 三三

(一) 四四～四九 一九八五

親康家伝来の「仙洞御歯」について 杉立義一 啓迪 (三三)

三六～三九 一九八五

『文政二年村上玄水解臟記』について 森 博 啓迪 (三三)

四〇～四四 一九八五

古典あれこれ

アルポート 症候群 堀内正敏 JOHNS I (11) 1110～

二二一 一九八五



クループの古典とナポレオン 飯沼壽孝 JOHNS I (III)

三二〇～三二一 一九八五

バル麻痺(顔面神経麻痺) 酒井シヅ JOHNS I (四) 四一

四～四一五 一九八五

Wartin 腫瘍 堀内正敏 JOHNS I (五) 五七二～五七

三 一九八五

キーゼルバッハと鼻出血 飯沼壽孝 JOHNS I (六) 六

六六～六六七 一九八五

Paul Broca (一八二四～一八八〇)の生地を尋ねる 日野原

正 JOHNS I (八) 八九六～八九八 一九八五

Brocaの鼻示数 飯沼壽孝 JOHNS I (九) 一〇〇〇～

一〇〇一 一九八五

Ortner 症候群 堀内正敏 JOHNS I (一〇) 一三三六～

一三三八 一九八五

目で見える東京慈恵会医科大学雑誌の歴史 山崎茂明、斎藤えり

か、裏田和夫、藍沢茂雄 東京慈恵会医科大学雑誌 一〇〇

六〇 一三四七～一三五八 一九八五

適塾のゾーフ・ヘルマ塾生を蘭学に駆りたてた蘭日辞書 芝

哲夫 日経メディカル 一四(六) 一八二～一八三 一九八

五

キリスト教禁制下のアダムとイブ 「解体新書」序図はいかにし

て生まれたか 藤野恒三郎 日経メディカル 一四(一〇)

一四二～一四三 一九八五

淡輪本解剖図巻について 宗田 一 日本医史学雑誌 三二

(一) 二五～三八 一九八五

「文政二年村上玄水解臟記」について 森 博 日本医史学

雑誌 三二(一) 一八六～一八八 一九八五

クルムス『解剖学表』一七四五の図について 酒井 恒 日本

医史学雑誌 三二(一) 一八八～一九〇 一九八五

浅井因南『扁倉伝割解』をめぐる 荒木ひろし 日本医史学

雑誌 三二(一) 二四六～二四八 一九八五

『傷風約言』について 花輪壽彦 日本医史学雑誌 三二(一)

二四九～二五一 一九八五

崔知悌『骨蒸病灸法』の伝承について—崔氏四花灸法の由来—

石原 武 日本医史学雑誌 三二(一) 二五一～二五三 一九

八五

『医心方』に引く『諸病源候論』の条文検討—その取捨選拓方針

初探 平馬直樹、小曾戸洋 日本医史学雑誌 三二(一) 二

五五～二五七 一九八五

『医心方』所引の『神農經』『神農食經』について 真柳 誠

日本医史学雑誌 三二(一) 二五八～二六〇 一九八五

『医心方』の伝写について(V) 錦小路家と榎田家 杉立義一

日本医史学雑誌 三二(一) 二六〇～二六二 一九八五

『医心方』卷二・四の異本群について 小曾戸洋 日本医史学

雑誌 三二(一) 二六二～二六四 一九八五

森立之の維新後の著書について—「文章軌範講解」— 三井駿一

日本医史学雑誌 三二(一) 二七九～二八一 一九八五

江戸医学における『医心方』の影写と校刻事業の経緯 矢数道

明 日本医史学雑誌 三一(三)三〇三〜三一六 一九八五

『医心方』中的古医学文献初探 馬 繼興 日本医史学雑誌

三一(三)三二六〜三七一 一九八五

新出の医心方古写零本卷二十七―現存した国宝仁和寺本の僚本―

小曾戸洋 日本医史学雑誌 三一(四)五二〇〜五二八 一九

八五

宇田川裕庵訳稿 『巴壺版都會志』をめぐる 中村孝志 ビ

ブリア (八四)一一〜二四 一九八五

「増補改正訳鍵」について―その出版― 岩治勇一 福井県医師

会だより (二七六)二六〜二七 一九八五

京大附属図書館に谷村本を観る―越前版「俗解八十二難経」の探

究― 岩治勇一 福井県医師会だより (二七八)四二 一九

八五

若狭蘭学事始 田邊賀啓 北陸医史 六(一)七〜二三 一九

八五

越中高岡佐渡三良の著書「和蘭薬性歌」について 正橋剛二、

松田健史 北陸医史 六(一)三二〜三五 一九八五

人名録

医薬免札姓名簿 酒井シヅ 西南諸藩の洋学 二六五〜二七三

一九八五

芳名録(金沢医学専門学校)について 寺畑喜朔 日本医史学

雑誌 三一(二)二四〇〜二四二 一九八五

西洋医学史

聖ベネディクトゥスの『戒律』中世キリスト教社会の健康指針

矢内義頭 医哲学医倫理 (三)一六〜二九 一九八五

A note on the evolution of medical profession in Britain. 栗

本宗治 「医譚」復刊 (五四)三三八六、(六四)三三八四、

(六二)、(七一)六四 一九八五

ガレノス文献とガレニズム私見(三) 石渡隆司 科学医学資

料研究 (二二九)九〜一二 一九八五

アンブローズ、パレ全集フランス語版からの和訳 大村敏郎

日本医史学雑誌 三一(一)八二〜九二 一九八五

バラケルススにおける「自然の光」の概念 大橋博司 日本医

史学雑誌 三一(二)二二五 一九八五

パレ全集の骨折篇・脱臼篇でみるキリスト教思想 我部正彦

日本医史学雑誌 三一(二)二一八〜二二〇 一九八五

ヒポクラテスの医術 寺師睦宗 日本医事新報 (三一六九)

七〇 一九八五

整形外科史

戦中戦後の整形外科の想い出 津山直一先生に聞く 津山

直一、外三名 整形外科 三六(三)四七二〜四七八 一九

八五

し・よう・か・さ・う・か 山内裕雄 整形外科 三六(二〇)一四八二

一九八五

義肢・装具の歴史的展望 武智秀夫 整外 MOOK (四〇)

一〜一二 一九八五

人工関節の歴史と展望―関節機能再建への努力― 山本 真

日本医事新報 (三二〇二)二四〜二八 一九八五

わが国の理学療法とリハビリテーションの濫觴 神林直二 理

学療法字 一二(三) 一五七～一六三 一九八五

整形外科を育てた人達

Royal Whitman (一八五七～一九四六) 天児民和 臨床

整形外科 二〇(一) 三六～三九 一九八五

Marius Nygaard Smith-Petersen 天児民和 臨床整形外科

二〇(一) 一六四～一六五 一九八五

Virgil Pendleton Gibney (一八四七～一九二七) 天児民和

臨床整形外科 二〇(三) 二八六～二八九 一九八五

Fred Houlette Albee (一八七六～一九四五) 天児民和

臨床整形外科 二〇(五) 六五〇～六五四 一九八五

Abraham Colles (一七七三～一八四三) 天児民和 臨床整

形外科 二〇(六) 七四八～七五〇 一九八五

Gehl, Hofrat Prof. Dr. Fritz Lange (一八六四～一九五二)

天児民和 臨床整形外科 二〇(七) 八八二～八八五 一九八五

Hans von Gessdorf (推定一四五五～一五一七) 天児民和

臨床整形外科 二〇(八) 九八四～九八七 一九八五

Sterling Bunnell (一八八二～一九五七) 天児民和 臨床整

形外科 二〇(九) 一〇七二～一〇七五 一九八五

Friedrich Trendelenbury 天児民和 臨床整形外科 二〇

(一〇) 一一九二～一一九五 一九八五

Franz Schede 天児民和 臨床整形外科 二〇(一一) 一三

二六～一三三九 一九八五

George Clemens Perthes 天児民和 臨床整形外科 二〇

(一二) 一四二二～一四二五 一九八五

日本の整形外科の歴史を語る 京大整形外科の流れを中心として

近藤鋭矢、外二名 臨床整形外科 二〇(八) 九五六～九六四

一九八五

精神神経医学史

ジャック・カランの欲望論主体における欲望と享楽 藤原 博

医哲学医倫理 (三) 一～一五 一九八五

『増補重訂内科撰要』より 胆液敗黒病篇、および煩悶篇 吳

秀三先生記念精神科医療史資料通信 (三) 一～八 一九八五

クリフ・オード・ピアースより 吳秀三先生あて手紙 吳秀三先生

記念精神科医療史資料通信 (三) 九～一〇 一九八五

『医事新聞』所載精神鑑定記事 吳秀三先生記念精神科医療史

資料通信 (三) 一一～一三 一九八五

五区三号室患：東京府巢鴨病院 吳秀三先生記念精神科医療史

資料通信 (三) 一四～二二 一九八五

吳秀三先生在職一〇年祝賀アルバム (門弟写真) 吳秀三先

生記念精神科医療史資料通信 (三) 二三、(四) 二六、(五)

二二～二二 一九八五

精神衛生法改悪反対運動資料 吳秀三先生記念精神科医療史資

料通信 (三) 二四～二七、(四) 二七～二九、(五) 二二～二

七、二八～三四 一九八五

グリージンゲル『精神疾患の病理学と治療』 岡本靖雄 吳秀

三先生記念精神科医療史資料通信 (三) 二八～二九 一九八五

神俣 「精神病学総論」 吳秀三先生記念精神科医療史資料通

信 (四) 一一〇、(五) 一三〇、一九八五

吳秀三筆による精神病学教室及附属病院建設地選定についての意

見書 吳秀三先生記念精神科医療史資料通信 (四) 二二〇

二二一九八五

『精神異常者と社会問題』 吳秀三先生記念精神科医療史資料通

信 (四) 二二三、二二五 一九八五

『増補重訂内科撰要』より(その二) 昏睡篇 吳秀三先生記念

精神科医療史資料通信 (四) 一〇九 一九八五

明治六年梓巫市子憑祈禱狐下げ禁止通達 吳秀三先生記念精神

科医療史資料通信 (四) 一〇 一九八五

『増補重訂内科撰要』より(完結) 精神錯乱篇 吳秀三先生記

念精神科医療史資料通信 (五) 一〇九 一九八五

明治五年八月大阪府申第二百七十号 吳秀三先生記念精神科医

療史資料通信 (五) 一〇〇、一一 一九八五

芦原帝勅語 吳秀三先生記念精神科医療史資料通信 (五) 二

〇 一九八五

精神科医療史関連文献目録(一九八三年) 吳秀三先生記念精

神科医療史資料通信 (五) 三五、三八 一九八五

「いまなにをなすべきか」 吉岡真二 吳秀三先生記念精神科医

療史資料通信 (五) 三九 一九八五

『神経心理学 Neuropsychology』についての覚書 浜中淑彦

神経心理学 一(一) 二二、二八 一九八五

資料 神俣教授精神病学講義筆記録(高嶺三吉) | 開講一〇〇年

をまねに | 岡田靖雄、吉岡真二、長谷川源助 精神医学 二

七(一二) 一四四七、一四五三 一九八五

戦前の日本における精神科病院・精神科病床の発達 岡田靖雄

日本医史学雑誌 三一(一) 九三、一〇七 一九八五

安藤昌益の精神医学 岡田靖雄 日本医史学雑誌 三一(二)

一九八二、二〇〇 一九八五

『解体新書』の訳語「意識」をめぐる | 東西医学における「意識」

概念変遷の側面 | 浜中淑彦 日本医史学雑誌 三一(二)

二〇九、二一一 一九八五

江戸時代随筆集にみる狂気 第一報 昼田源四郎 日本医史学

雑誌 三一(二) 二二七 一九八五

日本精神医学風土記 北海道 渡辺栄市 臨床精神医学 一四(八) 一二五、一

二六〇 一九八五

岩手県 白石順吉 臨床精神医学 一四(九) 一三九五、一

四〇一 一九八五

福島県 寺山晃一 臨床精神医学 一四(二〇) 一五三五、

一五四四 一九八五

千葉県 浅井利勇 臨床精神医学 一四(二一) 一七二七、

一七三五 一九八五

神奈川県 石井 清 臨床精神医学 一四(二二) 一八六七

〇 一八七八 一九八五

生理学史

新潟病院で使用された生理学書 谷津三雄、落合俊輔、藤井敏

博 日本齒科医史学会々誌 一一(二)五二 一九八五

日本の発汗学の歴史 森本武利、吉村寿人 労働の科学 四〇

(八) 四〇七 一九八五

地方史

近世の医師と国学―特に本間春城・清行の場合― 舟木茂夫 い

わちどり (一三) 七四〇九四 一九八五

△郷土医史▽

明治の鹿児島医学史 森 重孝 鹿児島市医報 二四(四)五

三〇五四、(五)三五〇三六、(六)二六〇二八、(七)四六〇

四八、(二〇)四八〇五〇、(二二)四八〇五〇 一九八五

近世の医師と国学―特に遠江の場合― 舟木茂夫 静岡県医史学

懇話会会誌 (二) 九〇一六 一九八五

市立清水病院の創設 土屋重朗 静岡県医史学懇話会会誌

(二) 一七〇二〇 一九八五

清水の医史探訪記(第五回 医の史跡めぐり記録) 土屋重朗

静岡県医史学懇話会会誌 (二) 二二〇二二 一九八五

静岡県医史学懇話会の歩み 静岡県医史学懇話会会誌 (一)

二二〇二三 一九八五

秋田県の蘭学 石田秀一 日本医事新報 (三三二〇七) 一四四

一九八五

医界風土記 島根県 永井博士の便り 鈴木繁徳 日医ニュー

ス (五六一) 一九八五

大野藩の蘭学者「洋印」の流行 岩治勇一 北陸医史 六(一)

四〇〇四四 一九八五

治療史

マイクロ波凝固法の歴史 江崎昌俊 Gastroenterol Endosc

二七(六) 一二二二〇二二三 一九八五

結核の化学療法研究における国柄の物語(後編)

結核 六〇(六) 三四三〇三五〇 一九八五

治療の歴史 消化性潰瘍の治療学 岡崎幸紀 治療学 一四

(六) 八六六〇八七〇 一九八五

結核の血清療法 「山川登美子の病歴」追加 白崎昭一郎 北

陸医史 六(一) 七四〇七五 一九八五

明治二〇年の「保健食料」と栄養所要量 金子 俊、丸井英二

民族衛生 五一(三) 一四八〇一五一 一九八五

高野山の医療と食養(第一報) 若園房雄、外三名 薬史誌

(三〇年記念) 一九 一九八五

大阪における病院給食の創まり 中室嘉祐 薬史誌(三〇年記

念) 二六 一九八五

伝記

御雇外科教師ヴィルヘルム・シュルツェ 小関恒雄・北村智明

Heinz VIANDEN, Torla HSEKIEL 医学のあゆみ 一三

五(四) 三〇二〇三〇五 一九八五

丹波氏について 新村 拓 医心方研究発表会―発表要旨集―

四〇七 一九八五

小石元俊をめぐって 津田進三 醫譚 (七二) 二九〇三四

一九八五

江馬蘭齋の漢詩について 青木一郎 醫譚 (七二) 三五〇四

〇 一九八五

嵯峨寿安の黒川自然先生小伝 寺畑喜朔 醫譚 (七一) 四一

〜四四 一九八五

神戸文哉とその墓 村島隆三 醫譚 (七一) 四五〜四七一

一九八五

上田市医師会附属医学史料館報 (一五〇) 山極博士の病氣

柳沢文秋 上田市医師会報 一五(一) 一五 一九八五

大阪の町人本草家堀田竜之助一畔田翠山書状・山本沈三郎書状を

めぐる― 上田 稯 大阪市立博物館研究紀要 一七冊 一九

八五

クスマウルの生涯とその主要な業績 多賀須幸男 科学医学資

料研究 (一三一) 一〜八 一九八五

科学者点描(七) 脳とクジラと医学史と・小川鼎三 岡部昭

彦 学燈 八二(三) 五二〜五五 一九八五

漢方医学の歴史的変遷 北山友松子 安井広迪 Kampo 三

(一) 二二〜三〇 一九八五

田代三喜翁記念碑建立をめぐって(天の部) 鈴木博夫 漢方

診療 四(一) 八七〜九一 一九八五

切手でみる東洋医学

孫思邈 小野公義 漢方診療 四(五) 四二 一九八五

華佗 小野公義 漢方診療 四(六) 五七 一九八五

Joseph François Felix Babinski 豊倉康夫 Clin Neurosci 三

(一) 一〇七 一九八五

John Hughlings Jackson 秋元波留夫 Clin Neurosci 三(1)

一三五 一九八五

Emil Kraepelin 内沼幸雄 Clin Neurosci 三(三) 三五〇

一九八五

Camillo Golgi 万年甫 Clin Neurosci 三(四) 四七〇

一九八五

Pierre Paul Broca 長谷川恒雄 Clin Neurosci 三(五) 五九〇

一九八五

Walter Rudolf Hess 佐藤昭夫 Clin Neurosci 三(六) 七〇〇

三一九八五

Charles Scott Sherrington 本間三郎 Clin Neurosci 三(七)

八一四 一九八五

Walter Edward Dandy 佐藤圭司 Clin Neurosci 三(八)

九三六 一九八五

Pio Del Rio Hortega 万年甫 Clin Neurosci 三(九) 一〇四七 一九八五

〇四七 一九八五

阿知波仁兄を偲ぶ 三木 栄 啓迪 (三) 一 一九八五

阿知波先生を追悼する 大鳥蘭三郎 啓迪 (三) 二〜三一

一九八五

阿知波先生を偲ぶ 藪内 清 啓迪 (三) 三〜四 一九八五

阿知波五郎先生の想い出 佐藤昌介 啓迪 (三) 五〜六 一

一九八五

阿知波五郎先生の思い出 矢数道明 啓迪 (三) 六 一九八

五

阿知波五郎博士をしのぶ 田中助一 啓迪 (三) 七 一九八

五

五

敬仰する医仁―阿知波五郎先生 山中太木 啓迪 (三) 八

一九八五

阿知波五郎先生を偲ぶ 青木一郎 啓迪 (三) 九 一九八五

阿知波五郎博士の学恩に感謝して 岩治勇一 啓迪 (三) 一

〇 一九八五

阿知波五郎先生の思い出 津田進三 啓迪 (三) 一一 一九八五

阿知波先生と外科学史 松木明知 啓迪 (三) 一二 一九八五

五

ペンティーチャー阿知波先生 矢部一郎 啓迪 (三) 一三 一九八五

一九八五

阿知波先生を偲ぶ 服部敏良 啓迪 (三) 一四 一九八五

八五

阿知波先生の思い出 蒲原 宏 啓迪 (三) 一五 一九八五

一九八五

阿知波先生の学恩 中山 沃 啓迪 (三) 一六 一九八五

八五

阿知波先生の思い出 三浦豊彦 啓迪 (三) 一七 一九八五

一九八五

大先達阿知波先生を慕う 末中哲夫 啓迪 (三) 一八 一九八五

一九八五

神さまみたいな人 長門谷洋治 啓迪 (三) 一九 一九八五

一九八五

阿知波五郎先生追悼号に寄せて 田辺朋之 啓迪 (三) 二〇

一九八五

阿知波先生を偲ぶ 山田重正 啓迪 (三) 二〇 一九八五

阿知波五郎先生の思い出 守屋 正 啓迪 (三) 二一 一九八五

一九八五

阿知波先生の業績をたたえる 宗田 一 啓迪 (三) 二二 一九八五

二二

阿知波五郎先生を偲ぶ 高島文一 啓迪 (三) 二三 一九八五

一九八五

阿知波先生を偲んで 藤垣亀雄 啓迪 (三) 二四 一九八五

阿知波先生・思い出すままに 指宿照久 啓迪 (三) 二六 一九八五

一九八五

阿知波五郎先生を偲んで 杉立義一 啓迪 (三) 二七 一九八五

一九八五

検査を築いた人びと ヤン・ブルキンエ 酒井シヅ 検査と技術 一三 一九八五

一九八五

フォリンとのコンビで生化学的測定法を開発したウー・シェン 深瀬泰且 検査と技術 一三 一九八五

一九八五

ドナルド・ヴァン・スライク 深瀬泰且 検査と技術 一三 一九八五

一九八五

クレマン・フォン・ピルケ 酒井シヅ 検査と技術 一三 一九八五

一九八五

(四) 三二六 一九八五

フエリックス・ホッペザイラー 深瀬泰且 検査と技術 一

三(五)四一六 一九八五

残余窒素の測定法を開発したヨハン・キエルダール 深瀬泰

且 検査と技術 一三(六)五一八 一九八五

アウブスツス・レ・ウォラー 酒井シヅ 検査と技術 一三

(七)六〇二 一九八五

腰椎穿刺を創めたハインリッヒ・タインケ 深瀬泰且 検査

と技術 一三(八)七五〇 一九八五

脳室撮影をのみだしたウォルター・ダンディ 深瀬泰且 検

査と技術 一三(九)七九八 一九八五

デュシエンス・ド・ブローニエ 酒井シヅ 検査と技術 一

三(一〇)八八八 一九八五

脊髄造影法の開拓者ジャン・シカール 深瀬泰且 検査と技

術 一三(一一)一〇一五 一九八五

エガス・モーニス 深瀬泰且 検査と技術 一三(一二)

一〇二〇 一九八五

鍼聖杉山和一伝 斎藤末二郎 経絡鍼療 一七(一)四九〇五

二、(二)五〇〇五六、(三)五三〇五六、(五)四五〇四八

一九八五

バラニーの生涯と仕事 酒井シヅ JOHNS I(1)九二〇

九三 一九八五

古典あれこれ 気管切開とフアブリチウス 酒井シヅ JOHNS

一(七)七八二〇七八四 一九八五

ベルツと東京大学 緒方富雄 診断と治療 七三(六)一二九

九〇三〇〇 一九八五

柿内三郎先生伝 島園順雄 生化学 五七(二)一五〇一

一五一六 一九八五

高木兼寛とその批判者たち 脚気の原因について展開されたわが

国最初の医学論争 松田 誠 東京慈恵会医科大学雑誌 一

〇〇(六)一〇七九〇一九七 一九八五

レントゲンの散歩道 偉大なる科学者 Dr. W.C. Röntgen (II)

五) 中村民好 東京放線 三二(八)三八〇四五 一九八五

医学史のポシエット

Nikolai Sergeevich Karotkov 酒井シヅ 内科 五五(一)

一四八 一九八五

Clemens von Pirquet 酒井シヅ 内科 五五(二)三三一

一九八五

Theodor Kocher 酒井シヅ 内科 五五(三)五二〇 一九

八五

Guido Banti 酒井シヅ 内科 五五(四)七五八 一九八五

Alois Alzheimer 酒井シヅ 内科 五五(五)九四二 一九

八五

Richard Bright 酒井シヅ 内科 五五(六)一一七二 一

九八五

Edvard Heinrich Henoch 酒井シヅ 内科 五六(一) 一

五六 一九八五

Guillaume-Benjamin-Amand-Duchenne 酒井シヅ 内科

五六(二)三七四 一九八五



John Cheyne 酒井シツ 内科 五六(三) 五四二 一九八

五

Austin Flint 酒井シツ 内科 五六(四) 七四六 一九八五

Heinrich Irenaeus Quincke 酒井シツ 内科 五六(五)

九五二 一九八五

Charles-Edouard Brown-Séquard 酒井シツ 内科 五六

(六) 一四〇 一九八五

日本統治下の朝鮮救癩事業に一生を捧げた周防正季博士 佐久

間温巳 名大医学部学友時報 (四二二) 一〇一、(四二

三) 八〇九、(四二四) 一〇一、一九八五

わが国初の西洋式病院「長崎養生所」とポンペ 石田純郎 日

経メディカル (二二) 一九二、一九三 一九八五

我国最初のリウマチ学単行書『痲痺瘰癧新論』の訳編者 八杉利

雄 (一八四七、一八八三) と原著者フリント (一八一二、一八

八六) 蒲原 宏 日本医史学雑誌 三二(一) 三九、五

〇 一九八五

『老婆心書』の著者羽佐間宗玄と杉本仲温良 深瀬泰且 日本

医史学雑誌 三二(一) 五一、七二 一九八五

小川鼎三先生を偲んで 大島蘭三郎 日本医史学雑誌 三二

(一) 二九、一三二 一九八五

小川鼎三先生を偲んで 大滝紀雄 日本医史学雑誌 三二(一)

一三一、一三八 一九八五

小川鼎三博士を悼む 富士川英郎 日本医史学雑誌 三二(一)

一三八、一四一 一九八五

小川鼎三先生とキューバの勲章 古川 明 日本医史学雑誌

三一(一) 一四一、一四三 一九八五

追憶の小川鼎三先生 大塚恭男 日本医史学雑誌 三二(一) 一

四三、一五四 一九八五

吉田松陰と医学 田中助一 日本医史学雑誌 三二(一) 一九

五、一九七 一九八五

竹田薬師院家について 安井広迪 日本医史学雑誌 三二(一)

二〇七、二〇八 一九八五

外科医による外科史—マルゲニューの場合— 大村敏郎 日本医

史学雑誌 三二(二) 二一六、二一八 一九八五

扁鵲 其の一 家本誠一 日本医史学雑誌 三二(二) 二二二

、二二四 一九八五

太田正雄の愛知医大教授就任について 長門谷洋治 日本医史

学雑誌 三二(二) 二三八、二四〇 一九八五

主として日本統治時代の韓国における救癩事業と周防正季博士

佐久間温巳 日本医史学雑誌 三二(二) 二六七、二六九 一

九八五

永井潜と性教育 江川義雄 日本医史学雑誌 三二(二) 二七

四、二七六 一九八五

藤野敵九郎記念館収蔵遺品について 泉彪之助 日本医史学雜

誌 三二(二) 二七六、二七八 一九八五

医師マンローの業績 桑原千代子 日本医史学雑誌 三二(一)

二八三、二八五 一九八五

歩兵屯所医師取締手塚良齋政富 深瀬泰且 日本医史学雑誌

三一(四) 四九〇〜五〇二 一九八五

ウィリアム・スメリーの遺跡と人物像 杉立義一 日本医史

学雑誌 三一(四) 五〇三〜五一九 一九八五

儒医であった芭蕉 小林茂信 日本医事新報 (三一七二) 七

〇 一九八五

江戸前期の外療(外科医) 大村加卜の医術 小宅朝男 日本医

事新報 (三一八二) 六七 一九八五

維新の志士池田徳太郎とその父元琳 阪田泰正 日本医事新報

(三一八七) 七三〜七四 一九八五

三英考(一二)〜(二三) 半谷二郎 日本医事新報 (三一

六九) 六〇〜六三、(三一七〇) 六一〜六四、(三一七二) 七一

七三、(三一七七) 六二〜六六、(三二七八) 六六〜七〇、(三

一七九) 六二〜六六、(三一八五) 六四〜六六、(三一八六) 六

七〜六九、(三一八八) 六五〜六九、(三一八九) 六四〜六七、

(三一九〇) 六七〜七〇、(三一九一) 六六〜六九 一九八五

明治期御雇医師夫妻の生活 ドリトル・シュルツェ夫人の手紙

トスカ・ヘゼキール(編)、小関恒雄、他(訳) 日本医事新報

(三二六九) 六四〜六六、(三二八四) 六四〜六七、(三二八六)

七〇〜七二、(三三〇七) 六二〜六四、(三三〇八) 六六〜六八

一九八五

故白教美輝雄先生を偲ぶ 日本歯科医史学会々誌 一二(一一)

七〇〜七一 一九八五

名医列伝

飢饉と闘った名医 建部清庵 蔵方宏昌 ばんぶう (四三)

一七二〜一七三 一九八五

管鍼法を大成した盲目の鍼医 杉山和一 蔵方宏昌 ばんぶう

(四四) 一六六〜一六七 一九八五

蘭学生みの親 前野良沢 蔵方宏昌 ばんぶう (四五) 一

六八〜一九九 一九八五

医学の大衆啓蒙に貢献 香月牛山 蔵方宏昌 ばんぶう

(四六) 一六八〜一九九 一九八五

施療事業に尽した宣教医 ヘボン 蔵方宏昌 ばんぶう

(四七) 一六八〜一九九 一九八五

日本の医学に新風を吹き込んだ草医 田代三喜 蔵方宏昌

ばんぶう (四八) 一六八〜一九九 一九八五

幕末日本で近代的な医学教育を実施 ポンペ 蔵方宏昌 ば

んぶう (四九) 一八四〜一八五 一九八五

細胞病理学の創立者 ウィルヒョウ 蔵方宏昌 ばんぶう

(五〇) 一六八〜一九九 一九八五

幕末の動乱に生きたイギリスの外科医 W・ウイリス 蔵方

宏昌 ばんぶう (五一) 一八四〜一八五 一九八五

生涯を種痘にかけた小児科医 桑田立斎 蔵方宏昌 ばんぶ

う (五二) 一八六〜一八七 一九八五

東海の蘭学創始者 江馬蘭齋 蔵方宏昌 ばんぶう (五三)

一八四〜一八五 一九八五

西洋医学所の基礎作りをした 大槻俊斎 蔵方宏昌 ばんぶ

う (五四) 二〇六〜二〇七 一九八五

大同野坂源三郎、藤野殿九郎の漢字の師 泉彪之助 福井短大

研紀 (九) 六三〜七二 一九八五

偉大な組織学者ツィンメルマンを想う 上原康生、新盛英世

ミクロスロビア 二(三) 一一八〜一二三 一九八五

医学の足跡

ルドルフ・ウィルヒョウ (Rudolf Virchow) (一八二一〜一九〇二)

生命現象の基本を細胞に求めた現代病理学の父 中野道

野道 Mebio 二(一) 七五〜八〇 一九八五

Ignaz P. Semmelweis (一八一八〜一八六五) 中野道

Mebio 二(三) 七三〜七八 一九八五

ジェームズ・パーキンソン (一七五五〜一八二四) 中野道

Mebio 二(四) 七一〜七六 一九八五

フロレンス・ナイチンゲール (一八二〇〜一九一〇) 中野道

野道 Mebio 二(五) 七一〜七六 一九八五

マックス・ペッテンコーフェル (Max J. Pettenkofer) (一八一八〜一九〇二) 近代衛生学の確立者 中野道 Mebio

二(六) 七五〜八〇 一九八五

ジョバンニ・モルガニー (Giovanni B. Morgagni) (一六六八〜一七七一) 病理解剖学の創始者 中野道 Mebio 二

(七) 七五〜八〇 一九八五

シグムント・フロイト (Sigmund Freud) (一八五六〜一九三九) 人間の心理を探究した精神分析医 中野道 Mebio

二(九) 七五〜八〇 一九八五

ツェンペリーの来日とその意義 (第二報) —とくにツェンペリーに与えたりンネの影響について— 高橋 文、川瀬 清 薬史

学雑誌 (創立三十周年記念号) 二七〜二八 一九八五

ツェンペリーの来日とその意義 (第三報) —とくに南アフリカでの生活について— 高橋 文、川瀬 清 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三一〜三二 一九八五

医学近代化と外人たち

シーボルト 宗田 一 臨床科学 二(四) 五四九〜五五四 一九八五

モーニッケとファン・デン・ブルック 石田純郎 臨床科学 二(五) 六七二〜六七六 一九八五

ボンベと近代医学教育のあけぼの 石田純郎、ハルム・ポイケルス 臨床科学 二(六) 八〇五〜八一〇 一九八五

ボードインの数奇な運命 石田純郎 臨床科学 二(七) 九五一〜九五五 一九八五

ウトレヒト陸軍軍医学校の同窓生たち—ハラタマ、レーウエン、ブツケマ、ロイトルー 石田純郎 臨床科学 二(八) 一〇八九〜一〇九四 一九八五

横浜オランダ海軍病院医師 (メーエル、ヨング) とボードインの後任医師 (マンスフェルト、エルメレンス) 石田純郎 臨床科学 二(一〇) 一四一七〜一四二一 一九八五

ビダール、ヘーデンとフォック 蒲原 宏 臨床科学 二(一一) 一五四七〜一五五四 一九八五

スロイス、ホルトルマン 津田進三 臨床科学 二(一二) 一六八五〜一六八九 一九八五

セイクスピアと医学

- (一) 序説 森 優 臨床と研究 六二(一) 赤ページ 一  
九八五
- (二) 医学に関するセイクスピアの知識 森 優 臨床と  
研究 六二(二) 赤ページ 一九八五
- (三) 血管、瀉血 森 優 臨床と研究 六二(三) 赤ペ  
ージ 一九八五
- (四) 尿 森 優 臨床と研究 六二(四) 赤ページ 一九  
八五
- (五) ロミオとジュリエット 森 優 臨床と研究 六二  
(五) 赤ページ 一九八五
- (六) フォールスタフ 森 優 臨床と研究 六二(六)  
赤ページ 一九八五
- (七) 劇リア王の中の医師 森 優 臨床と研究 六二  
(七) 赤ページ 一九八五
- (八) 夢遊病 森 優 臨床と研究 六二(八) 赤ページ  
一九八五
- (九) 性病 森 優 臨床と研究 六二(九) 赤ページ 一  
九八五
- (一〇) 臨床的の知識 森 優 臨床と研究 六二(一〇)  
赤ページ 一九八五
- (一一) 癩癩 森 優 臨床と研究 六二(一一) 赤ペ  
ージ 一九八五
- (一二) セイクスピアと医師 シュン・ハル 森 優 臨床と  
研究 六二(一二) 赤ページ 一九八五
- 明治の先覚医伊東玄朴(その一) 堀田正之 臨床と研究 六  
二(五) 青ページ 一九八五
- シルヴィウス教授とジン 石田純郎 科学医学資料研究 (一  
二九) 一〇八 一九八五
- シルビウス教授とオランダの地酒ジュネーバ 石田純郎 日本  
医事新報 (三一九四) 五九〇六一 一九八五
- 酒乱のロイトルの失敗 石田純郎 日本医事新報 (三二〇九)  
六一〇六二 一九八五
- 私の恩師―北から南から―小川鼎三先生 酒井シヅ 臨床科学  
二二(八) 一〇九五〇一〇〇 一九八五
- 臨時付属医専の設置と軍医予備員会の発案者 梶浦源一氏の遺稿  
福島義一 醫譚 (七二) 五七〇六三 一九八五
- 中野操先生米寿祝賀記念詞藻 醫譚 (七二) 六五〇八二 一  
九八五
- 平田篤胤の蘭馨堂入門と蘭方医学研究 平野 満 日蘭学会会  
誌 一〇(一) 四七〇六二 一九八五
- 高嶺徳明の事蹟について―とくに手術に用いた「薬」の本態につ  
いて― 松木明知 日本医学史雑誌 三一(四) 四六三〇四八  
九 一九八五
- 新宮涼庭の亡児を悼む児 岸本正雄 日本医事新報 (三二二  
六) 六四〇六五 一九八五
- 歩兵屯所医師取締手塚良斎致富 深瀬泰旦 日本医学雑誌  
三一(四) 四九〇〇五〇二 一九八五
- 国家衛生原理(二四) 後藤新平 纂述 医療政策思想史ノート

(第一四回) 日野秀逸 保団連 (二二五) 七四〇八一

一九八五

明治の先覚医 相良知安 堀田正之 臨床と研究 六二(九)

青ペーじ 一九八五

— 吳秀三— 老年精神医学創成期の人 岡田靖雄 老年精神医学

二(五) 七九八〇六 一九八五

伝記(双)

漢方医学の歴史的変遷(九) 古林見宜 曲直瀬門下の俊秀たち

安井広迪 Kampp 三(一) 七四〇八〇 一九八五

通信健康管理の先覚者たち 中村利彦 通信医 三七(五) 二

七九〇二九〇 一九八五

『天王寺会記』に登場する医師について 安井広迪 日本医史

学雑誌 三二(一) 七二〇八一 一九八五

歩兵屯所の医師たち— 『医学所御用留』から— 深瀬泰且 日本

医史学雑誌 三二(二) 二八一〇二八三、(三) 三七二〇三九一

一九八五

二人の皮膚科学者 長門谷洋治 日本医事新報 (三一六八)

一〇四 一九八五

ある明治の先駆者 大鶴正満 日本医事新報 (三一九二) 五

九〇六一 一九八五

ポードウィーンと幕末維新のオランダ医たち 石田純郎 日蘭学

会誌 九(二) 一一三〇一三六 一九八五

華岡青州とシーボルト 河合光輝 福井県医師会だより (二

七七) 二一〇二二 一九八五

奥村良筑(南山)と荻野元凱(台州) 加藤豊明 北陸医史

六(一) 五七〇七三 一九八五

賀来佐之・睦之(飛騨)について 山下愛子 薬史学雑誌

(創立三十周年記念号) 三〇 一九八五

内科史

昭和内科史ノート

戦前の内科学 三辺 謙 からの科学 (一二二) 八八〇

九二 一九八五

肺結核・肺炎 三辺 謙 からの科学 (一二三) 一〇九

〇一四 一九八五

成人病(その一) 三辺 謙 からの科学 (一二四) 一

〇六〇一一 一九八五

総合健診淵源史— ロンドン・カリフォルニア・東京— 三輪卓爾

日本医史学雑誌 三二(一) 一〇八〇二二二、(三) 四〇六〇

四二九 一九八五

東洋医学史

西中医学の歴史とその統合 Joseph Needham 他二名 医界新

聞 (一六三二) 三〇八 一九八五

黄帝内経の真精神(十二) 素問・四気調神大論第二、冬の

健康法 柴崎保三 医道の日 四四(二) 七九〇八〇 一九

八五

「金匱要略」を読む 寺師睦宗 漢方診療 四(一) 二二〇二

七(二) 一六〇二二、(三) 二〇〇二六、(四) 一六〇二〇、(五)

二〇〇二五、(六) 二三〇二八 一九八五

漢方史景 酒と消毒法 藏方宏昌 漢方診療 四(一) 四四

四五 一九八五

傷寒論管見 川西和夫 漢方診療 四(一) 八三、八六、(二)

八九、九二、(三) 七二、七四、(四) 六九、七一、(五) 六六

、六九

陰陽五行説 三角大児 漢方診療 四(四) 六六、六八 一九

八五

併病理論の展開 藤平 健 漢方の臨床 三二(一) 一六、二

三 一九八五

傷寒雜病弁証通釈 松本一男 漢方の臨床 三二(一) 三九、

四〇 一九八五

三皇の医史学考察 陰陽五行への反省 遠藤昭伸 経絡治療

(八〇) 一五、二二 一九八五

足臂十一脈灸經 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資料の

研究 譯注篇 (三月号) 八七、九九 一九八五

陰陽十一脈灸經 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資料

の研究 譯注篇 (三月号) 一〇一、一二六 一九八五

脈法 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資料の研究 譯

注篇 (三月号) 一二七、一三一 一九八五

陰陽脈派候 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資料の研

究 譯注篇 (三月号) 一三三、一三五 一九八五

五十二病方 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資料の研

究 譯注篇 (三月号) 一三七、二八九 一九八五

却穀食氣篇 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資料の研

究 譯注篇 (三月号) 二九一、二九六 一九八五

養生方 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資料の研究

譯注篇 (三月号) 二九七、三六二 一九八五

武威漢代醫簡 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資料の

研究 譯注篇 (三月号) 三六三、四〇四 一九八五

流沙墜簡と居延漢簡と醫方簡 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中

国科学史資料の研究 譯注篇 (三月号) 四〇五、四一五 一

九八五

龍門石窟藥方碑文 赤堀 昭・山田慶兒 新發現中国科学史資

料の研究 譯注篇 (三月号) 四一七、四五五 一九八五

鍼灸と湯液の起源 古代医学形成の二つの位相 山田慶兒 新

發現中国科学史資料の研究 論考篇 (二月号) 三、一二二

一九八五

治法をめぐる問題 赤堀 昭 新發現中国科学史資料の研究

論考篇 (二月号) 一二三、一六五 一九八五

馬王堆漢墓出土医書三則 山田慶兒 新發現中国科学史資料の

研究 論考篇 (二月号) 二二五、二六二 一九八五

馬王堆帛書『五十二病方』中の湯と膏の調製に用いられた操作

赤堀 昭 日本医学雑誌 三一(一) 一、一五 一九八五

道與治疾方 宮下三郎 日本医学雑誌 三一(一) 一六、二

四 一九八五

中国医学の三十五年 李 経緯 日本医学雑誌 三一(二)

一六五、一六九 一九八五

金・元時代における社会と医家の地位 山本徳子 日本医学史

雑誌 三一(二)二二五～二二六 一九八五

京阪古方と金元医学 石田秀実 日本医史学雑誌 三一(二)

二二七 一九八五

中国医学と道教(V現在のシャーマニズムの見地から) 吉元

昭治 日本医史学雑誌 三一(二)二二八～二三〇 一九八五

『素問』水熱穴論の研究 遠藤次郎 日本医史学雑誌 三一(二)

二五四～二五五 一九八五

中国古代医学と医心方 三迫初男 日本医史学雑誌 三一(三)

三一七～三二五 一九八五

針か鍼かの名称(文献的考察) 原田さえ子、小池陽一郎、

大石和久、谷津三雄 日本歯科医史学会誌 一二(一)一一

～一二 一九八五

気血思想から経絡概念への発展、その現代科学的解釈(古を推し

て驗むるは惑わざる所似なり) 高野千石 日良導絡自律神

誌 三〇(二)二二～二六 一九八五

放射線医学史

核医学の歩んできた道 先覚者たちの足どりとその知られざるエ

ピソード 飯尾正宏 新医療 一二(四)一五～一八 一九

病院史

「病院」ことはじめ 飯田 収 JOHNS 一(二)二〇六～二

〇八 一九八五

一八五八～一八六八年、箱館ロシア病院の医療活動をめぐって

島田保久・谷澤尚一 日本医史学雑誌 三一(二)二〇三～二

〇四 一九八五

私立松江病院の剖検記録をめぐって 寺畑喜朔 北陸医史 六

(二)三六～三九 一九八五

仏教医学史

悟りと身心の状態について―法華経化城喻品における― 中田直

道 鶴見大学紀要 (二二)第四部 一九八五

三厘堂の信仰とリクリエイション 関根正雄 日本医史学雑誌

三一(二)二三四 一九八五

麻醉学史

世界初のエーテルによる全身麻醉 マサチューセッツ総合病院で

の公開実験 野上秀雄 日経メディカル 一四(一二)二二

二～二二三 一九八五

華佗の麻醉薬について 松木明知 日本医史学雑誌 三一(二)

一七〇～一七三 一九八五

ジェイムズ・ロビンソンと世界最初の麻醉科学の著書 松木明

知 日本医史学雑誌 三一(二)二八六～二八七 一九八五

高嶺徳明の事蹟について―とくに手術に用いた「薬」の本態につ

いて 松木明知 日本医史学雑誌 三一(四)四六三～四八

九 一九八五

麻醉科学史研究最近の知見

江上波夫博士の論文「華佗と幻人」の紹介 松木明知 麻醉

三四(二)二五七～二六〇 一九八五

華佗の麻醉法と大麻の分布に関連して 松木明知 麻醉 三

四(三)三七五～三七九 一九八五

薬学史(含本草学)

蛮薬ビリリ考(中井厚沢と大槻玄沢) 宗田 一 醫譚 (七)

一) 二一~二三 一九八五

日本の売薬

竜涎香・鯨糞と鯨腦・鯨精 宗田 一 医薬ジャーナル 二

二(一) 二一五~二一九 一九八六

山東薬物研究所の故事 高村 礼 日生研だより 三一(三)

一七 一九八五

古医書における漢方の使い方

四逆散 大塚恭男、山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人 日本

医師会雑誌 九三(一) カラー図説、(二) カラー図説 一

九八五

加味逍遙散 山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人、大塚恭男

日本医師会雑誌 九三(三) カラー図説、(四) カラー図説、

(五) カラー図説 一九八五

柴胡加竜骨牡蛎湯ハその二V 菊谷豊彦、長谷川弥人、大塚

恭男、山田光胤 日本医師会雑誌 九三(六) カラー図説

一九八五

抑肝散 長谷川弥人、大塚恭男、山田光胤、菊谷豊彦 日本

医師会雑誌 九三(七) カラー図説、(八) カラー図説 一

九八五

柴苓湯 大塚恭男、山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人 日

本医師会雑誌 九三(九) カラー図説 一九八五

柴陥湯 大塚恭男、山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人 日

本医師会雑誌 九三(一〇) カラー図説 一九八五

五苓散 山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人、大塚恭男 日

本医師会雑誌 九三(一一) カラー図説、(一二) カラー図

説 一九八五

五苓散 茵陳五苓散 山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人、大

塚恭男 日本医師会雑誌 九四(一) カラー図説 一九八五

茵陳五苓散 茵陳蒿湯 菊谷豊彦、長谷川弥人、大塚恭男、

山田光胤 日本医師会雑誌 九四(二) カラー図説 一九八

五

茵陳蒿湯 猪苓湯 菊谷豊彦、長谷川弥人、大塚恭男、山田

光胤 日本医師会雑誌 九四(三) カラー図説 一九八五

猪苓湯 長谷川弥人、大塚恭男、山田光胤、菊谷豊彦 日本

医師会雑誌 九四(四) カラー図説 一九八五

防己黃耆湯 長谷川弥人、大塚恭男、山田光胤、菊谷豊彦

日本医師会雑誌 九四(五) カラー図説 一九八五

越婢加朮湯 大塚恭男、山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人

日本医師会雑誌 九四(六) カラー図説、(七) カラー図説

一九八五

苓桂朮甘湯 山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人、大塚恭男

日本医師会雑誌 九四(八) カラー図説、(九) カラー図説

一九八五

苓姜朮甘湯 人參湯 山田光胤、菊谷豊彦、長谷川弥人、大

塚恭男 日本医師会雑誌 九四(一〇) カラー図説 一九八

五



人參湯 菊谷豊彦、長谷川弥人、大塚恭男、山田光胤 日本

医師会雑誌 九四(一一) カラー図説、(一二) カラー図説

一九八五

薬学史研究—大和壳薬—とその消長 大槻 彰・松下正巳 日

本医史学雑誌 三一(二) 二一一—二二二 一九八五

津軽一粒金丹の研究(一)—浅越事件について 松木明知 日

本医史学雑誌 三一(三) 三九二—四〇五 一九八五

明治初年の東京大学医学部「方函」(二) 小関恒雄 日本医史

学雑誌 三一(三) 四三〇—四四〇 一九八五

明治期におけるヨードについて 第一報 薬剤規則の変遷 下

総高次 日本歯科医史学会々誌 一一(二) 一—五 一九八五

明治一二年における新潟県の医薬品 谷津三雄、松本好正、村

木春長、原田さえ子 日本歯科医史学会々誌 一一(二) 五二

—五三 一九八五

明治期におけるヨードについて 第二報 ヨード製造とその販売

下総高次 日本歯科医史学会々誌 一一(四) 一〇九—一一三

一九八五

津村順天堂、薬品目録(明治四二年刊) からみた薬品の種類と効

能 谷津三雄、米長悦也、渋谷 鍼、北嶋まつ子 日本歯科

医史学会々誌 一二(一) 五九—六一 一九八五

台湾産生薬資源の開発研究(第二報) 藿香の生薬学的研究(一)

本草学的考察について 林 俊清、難波恒雄 日本薬史学会

二〇(二) 七七—八七 一九八五

和漢薬の本草学的研究(第八報) 山慈姑について 林 俊清、

難波恒雄 日本薬史学会 二〇(二) 八八—九八 一九八五

貝類和漢薬の生薬学的研究(第一五報) 西施舌の本草学的考察

浜田善利、波部忠重 日本薬史学会 二〇(二) 九九—一〇三

一九八五

波奈之丸天井に描かれた植物の検討(補遺) 浜田善利 日本

薬史学会 二〇(二) 一〇四—一〇七 一九八五

『熊府薬物会目録』所載の薬物の研究(第一報) 主品三十種にっ

いて 浜田善利 日本薬史学会 二〇(二) 一〇八—一一六

一九八五

日本薬局方に見られた生薬製剤カンゾウ(甘草)、ケイヒ(桂皮)

の変遷 山田光男 日本薬史学会 二〇(二) 一一七—一二

五 一九八五

本草学的図説『佐州図上』について 安江政一 日本薬史学会

二〇(二) 一二六—一三六 一九八五

山崎文庫「和蘭—医務条令・製薬開業制度」とその出典 川

瀬清 日本薬史学会 二〇(二) 一三七—一三八 一九八五

本会の創立に寄与された朝比奈泰彦、山科樵作、清水藤太郎先生

の想い出 木村雄四郎 薬史学雑誌(創立三十周年記念号)

九—一一 一九八五

日本薬史学会三十年の歩み 吉井千代田 薬史学雑誌(創立

三十周年記念号) 一二—一五 一九八五

高野山の医療と食養(第一報) 村木瞭三、若園房雄、小倉重

保、岡野美臣 薬史学雑誌(創立三十周年記念号) 一九 一

一九八五

黄者の本草学的研究 有地 滋、久保道徳、森山健三 薬史学

雑誌 (創立三十周年記念号) 一九 一九八五

『ブノモギ Artemisa maritima L. subsp. monogyna W. et K.

の栽培史考 三浦三郎 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号)

一九〇二〇 一九八五

安政五ヶ国条約とアヘン 佐藤文比古 薬史学雑誌 (創立三

十周年記念号) 二〇 一九八五

北海道におけるアヘン製造の歴史 木下良裕、針田和明 薬史

学雑誌 (創立三十周年記念号) 二〇 一九八五

樺太におけるアヘン製造の歴史 木下良裕、針田和明 薬史学

雑誌 (創立三十周年記念号) 二一 一九八五

東京大学薬学部百年史考―近代薬学教育・研究の源流― 根本曾

代子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二一 一九八五

医学教育への薬学の協力(大阪病院) 中室嘉祐 薬史学雑誌

(創立三十周年記念号) 二一 一九八五

わが国の薬学教育と分業運動史管見 安江政一 薬史学雑誌

(創立三十周年記念号) 二二 一九八五

江戸前期薬物の生産 佐藤文比古、橋本孝雄 薬史学雑誌 (創

立三十周年記念号) 二二 一九八五

江戸期の採薬記(概説) 伊藤和洋 薬史学雑誌 (創立三十

周年記念号) 二二 一九八五

麦門冬について 水野瑞夫、田中俊弘、野呂征男 薬史学雑誌

(創立三十周年記念号) 二三 一九八五

引経報使について 有地 滋、久保道徳、小曾戸洋、戸田静男

薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二三 一九八五

薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二三 一九八五

漢方処方の臨床生薬学的研究(五) 大黃、黃連、黃芩配合漢方

処分の医書考証 久保道徳、小野明二、林 輝明、有地滋、

野口 衛 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二四 一九八

五

ツェンペリーの来日とその意義(第一報) 高橋 文、川瀬 清

薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二四 一九八五

華岡青洲と乳岩(乳癌) 治験(第二報) 若園房雄、堤谷初子、

東 憲三、小倉重保、岡野美臣 薬史学雑誌 (創立三十周年

記念号) 二五 一九八五

賀来佐之の島原御薬園経営および賀来飛霞の東京大学小石川植物

園時代について 山下愛子 薬史学雑誌 (創立三十周年記

念号) 二五 一九八五

酒井甲太郎(九州大学病院初代薬局長)とその業績 堀岡正義、

金枝正巳、鶴岡道雄 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二

五 一九八五

近代薬学の潮流と歴史的分析 根本曾代子 薬史学雑誌 (創

立三十周年記念号) 二六 一九八五

西欧における医薬分業成立の背景 安江政一 薬史学雑誌

(創立三十周年記念号) 二六 一九八五

孫太郎虫 ヒキノヒロシ 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号)

二七 一九八五

『誹風柳樽』中の薬物 佐藤文比古 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二七 一九八五

丹羽藤吉郎論 その一「薬物の死守」といわれる「医師殺人論」について 安江政一 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二八 一九八五

近代日本薬学創生期および戦前の動向 川瀬 清 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二九 一九八五

薬学教育に於ける多様化と画一化の条件—薬学教育と教育・社会制度— 金庭延慶 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 二九 一九八五

東ドイツ (DDR) の臨床薬学に関する史的考察 辰野美紀 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三〇 一九八五

文蛤の本草学的研究 (一) 文蛤の和名について 浜田善利、日高啓子、村上誠愨 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三〇 一九八五

往來物中の薬物 佐藤文比古、橋本孝雄 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三一 一九八五

仙臺藩薬園 ヒキノヒロシ 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三一 一九八五

『薬方規範』について 金枝正巳、堀岡正義 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三二 一九八五

岡山における薬学教育 I 第三高等中学校医学部薬学科の興亡 小山鷹二 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三二 一九八五

五

日本薬局方における製剤の定義とその方法論—散剤関連製剤に対する定義の試み— 金庭延慶、川島寿子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三二 一九八五

賢親本草 ヒキノヒロシ 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三三、三八 一九八五

貝類生薬の本草学的研究 (四) 魁蛤・蛤蚧について 浜田善利、村上誠愨 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三三 一九八五

往來物中の薬物 (明治時代) 佐藤文比古 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三三 一九八五

アドレナリン発見ノート 高峰譲吉と上中啓三 山下愛子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三四 一九八五

製剤の定義とその方法論 (その二) 特殊な処理を要する製剤に対する定義 池川昭子、川島寿子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三四 一九八五

大阪大学薬学部九五年史 中室嘉祐 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三四 一九八五

岡山における薬学教育 (II) 第三高等中学校医学部薬学科廃校の前後 小山鷹二 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三五 一九八五

薬害史から見た日本の薬学 高野哲夫 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三五 一九八五

東ドイツ (DDR) の薬事制度の史的考察 (第三報) 一九六三年の第三回薬剤師大会と将来構想案について 辰野美紀 薬史

学雑誌 (創立三十周年記念号) 三六 一九八五

大阪における薬学教育の創まり 大阪大学薬学部百年、大阪薬科

大学百年 中室嘉祐 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号)

三六 一九八五

九州薬物展覧会について—『熊薬七十五年史抄』の補遺 小山

鷹二 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三六〜三七 一九

八五

向井元升とその家族たち 難波恒雄 薬史学雑誌 (創立三十

周年記念号) 三七 一九八五

ツェンベリーの来日とその意義 (第四報) —日本滞在を中心に—

高橋 文、川瀬 清 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三

七 一九八五

合成医薬品の史的発達 (第一報) 埴美智子、古川 隆、前田

龍子、石坂哲夫 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三七〜

三八 一九八五

近代日中薬学交流略史 川瀬 清 薬史学雑誌 (創立三十周

年記念号) 三八 一九八五

東ドイツの薬事制度の史的考察 (第四報) ドイツ薬局制度研究

所の調査と実験 辰野美紀 薬史学雑誌 (創立三十周年記

念号) 三八 一九八五

貝類生薬の本草学的研究 (六) 貝子について (一) 浜田善

利、改原由紀子、村上誠麿 薬史学雑誌 (創立三十周年記念

号) 三九 一九八五

佐渡に自生するホンバオケラ *Araclydodes lancaea* DC. について

安江政一 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 三九 一九八

五

九州地方産の薬物 佐藤文比古 薬史学雑誌 (創立三十周年記

念号) 四〇 一九八五

中国古代の硝石について 岡田 登 薬史学雑誌 (創立三十

周年記念号) 四〇 一九八五

学会運営者としての長井長義—『日本薬学会』百年史編集余滴—

川瀬 清 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四〇〜四一

一九八五

隘の史的考察 難波恒雄、竹花美博、古倉恒彦、井上光頼 薬

史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四一 一九八五

朝倉山椒小史 佐藤文比古 薬史学雑誌 (創立三十周年記念

号) 四一 一九八五

賀来飛霞 (一八一六〜九四) —薬園経営について— 山下愛子

薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四二 一九八五

岡山の薬学教育—第一次の私立岡山薬学学校— 小山鷹二 薬史学

雑誌 (創立三十周年記念号) 四二 一九八五

大阪薬史概観 根本曾代子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念

号) 四二〜四三 一九八五

日本薬局方収載品目一覧表の作成 末松正雄 薬史学雑誌

(創立三十周年記念号) 四三 一九八五

洋式病院薬局規則の創まり 中室嘉祐 薬史学雑誌 (創立三

十周年記念号) 四三 一九八五

『蘭園薬断』 ヒキノヒロシ 薬史学雑誌 (創立三十周年記念

号) 四四 一九八五

鳩毒について 宮崎正夫 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号)

四四 一九八五

土田英章の「微蟲図」について 北村二郎 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四四~四五 一九八五

尾張藩における朝鮮人參の栽培記録 『東谷御林人參一卷』について 安江政一 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四五

一九八五

飯沼愨齋生誕二〇〇年にあたり 水野瑞夫 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四五 一九八五

一九八五

飯沼愨齋の晩年の居所平林荘の現状と保存 田中俊弘、川瀬仙吉 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四五~四六 一九八五

一九八五

英国軍陣方彙、日用局方 佐藤文比古 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四六 一九八五

一九八五

日本薬局方に見られたサルチル酸製剤の変遷 山田光男 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四六 一九八五

一九八五

日本薬局方収載日本名の変遷について 末松正雄 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四六~四七 一九八五

一九八五

日本における病院薬学の創まりと特質、日本における医薬分業の創まり—日本薬学会百年史への追加— 中室嘉祐 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四七 一九八五

一九八五

医薬分業の史的分析 根本曾代子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四七 一九八五

一九八五

岡山薬学教育 (第三報) 第二次の私立岡山薬学校 小山鷹二 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四七~四八 一九八五

一九八五

薬の基本的性格の薬史学的検討 石坂哲太、埴美智子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四八 一九八五

一九八五

東ドイツ薬事制度の史的考察 (第五報) 総合保健計画と医薬品供給の再編成一九六六~ 辰野美紀 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四八 一九八五

一九八五

肥後細川藩御座船に描かれた草木—江戸時代の薬用植物の認識に關する一考察— 浜田善利 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四八~四九 一九八五

一九八五

『忘筆竊記』に見られる飯沼愨齋の植物研究 水野瑞夫、遠藤正治、福原裕子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四九 一九八五

『本草衍義』に見られる宋代薬理説の發展 真柳 誠 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 四九 一九八五

『名所図会』中の藥物 佐藤文比古 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五〇 一九八五

ゲールツの日本薬局方蘭文草案 (一八七七) について 江本龍雄 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五〇~五一 一九八五

日本薬局方各版別の収載品目数について 末松正雄 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五一 一九八五

ツェンペリーの来日とその意義 (第五報) —日本滞在を中心にして— 高橋 文、川瀬 清 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五一 一九八五

一九八五

岡山における薬学教育(第五報) 岡山県私立女子薬学校 小

山鷹二 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五一~五二 一

九八五

近代初頭ドイツにおける薬学教育について 川瀬 清、宮本法

子 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五二 一九八五

わが国への近代薬学導入の経緯について 安江政一 薬史学雜

誌 (創立三十周年記念号) 五二 一九八五

医薬分業を阻んだ史的要因 中室嘉祐 薬史学雑誌 (創立三

十周年記念号) 五二~五三 一九八五

欧米の薬史学会概況 山田光男 薬史学雑誌 (創立三十周年

記念号) 五三 一九八五

戦後の薬学教育 薬学関連領域の教育について 川瀬 清 薬

史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五三~五四 一九八五

戦後の薬学教育(追加) 制度から見た戦後の薬学教育 鶴飼

貞二 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五四 一九八五

戦後の薬学研究 遠藤浩良 薬史学雑誌 (創立三十周年記念

号) 五四 一九八五

戦後の薬事行政 伊藤和洋 薬史学雑誌 (創立三十周年記念

号) 五五 一九八五

戦後の製薬事情 宗田 一 薬史学雑誌 (創立三十周年記念

号) 五五 一九八五

日本における水銀の薬史学的考察

日本の古代と水銀 宗田 一 薬史学雑誌 (創立三十周年

記念号) 五六 一九八五

江戸庶民生活と水銀 三浦三郎 薬史学雑誌 (創立三十周

年記念号) 五六 一九八五

現代生活と水銀 井村伸正 薬史学雑誌 (創立三十周年記

念号) 五六 一九八五

近代日本薬学史の動向

—『日本薬学会一〇〇年史』編纂事業へ向けて—戦後日本薬学

領域での有機化学研究の動向 山川浩司 薬史学雑誌 (創

立三十周年記念号) 五六~五七 一九八五

—『日本薬学会一〇〇年史』編纂事業へ向けて—戦後日本薬学

領域での薬剤学の発展 小西良士 薬史学雑誌 (創立三

十周年記念号) 五七 一九八五

—『日本薬学会一〇〇年史』編纂事業へ向けて—戦後日本薬学

領域での生物化学研究の展開 遠藤浩良 薬史学雑誌

(創立三十周年記念号) 五七 一九八五

アイヌの疾病とその治療法に関する研究 木下良裕 薬史学雜

誌 (創立三十周年記念号) 五七 一九八五

アイヌの病因観と治療法 和田 完 薬史学雑誌 (創立三十

周年記念号) 五七~五八 一九八五

アイヌの疾病に対する思考について 藤村久和 薬史学雑誌

(創立三十周年記念号) 五八 一九八五

一七九九年の蝦夷地採薬に関する基本史料について 谷澤尚一

薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五八 一九八五

日本薬学一〇〇年の発展とその史的背景 長沢元夫 薬史学雑誌 (創

立三十周年記念号) 五八 一九八五

立三十周年記念号) 五八～五九 一九八五

明治維新前後の薬学 宗田 一 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 五九 一九八五

一八～一九世紀におけるヨーロッパ薬学の概観 川瀬 清

薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 六〇 一九八五

近代化学発達史 石坂哲夫 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 六〇～六一 一九八五

職業倫理の過去および現在—ドイツの職人精神に関連して—

高木健次郎 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 六一～六三 一九八五

シンポジウム、薬剤師の職業的独立

各国における薬剤師(薬系の技術者)の職業的独立をめぐる一フランスについて— 奥田 潤 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 六四 一九八五

各国における薬剤師の職業的独立をめぐる一—スウェーデンにおける薬局制度の変遷— 高橋 文 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 六四～六五 一九八五

薬剤師の職能と、その教育について 吉井千代田 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 六五 一九八五

日本薬史学会創立三〇年を顧みて 吉井千代田 薬史学雑誌 (創立三十周年記念号) 六五 一九八五

その他

過去帳と歴史人口 西川瀨八 医学のあゆみ 一三三(一三)

一〇二三～一〇一九 一九八五

癌研究の思い出 芝 茂、田口鉄男 癌治療・今日と明日

七(一)一～九 一九八五 癌研究の思い出 佐藤春郎 癌治療・今日と明日 七(四)一～四 一九八五

GRFとGRFの発見 田中芳雄、入江 実 クリニカ 二二(一)八五～九一 一九八五

明治時代の往診カバン 酒井シヅ クリニシアン 三二(一)四～六 一九八五

△資料紹介▽三浦蘭阪稿 「天保五年九月 日尚歯會記 末中哲夫、宗田 一 啓迪 (三) 四四～四六 一九八五

三陸海岸津波・救援の思い出 渡辺宗治 健会議 三七(六) 四三～四七 一九八五

外科医の薬局 酒井シヅ 手術 三九(八) 八四〇 一九八五

あふ二つの死に出会って 酒井シヅ 総合社会保障 二二(五) 五六～五九 一九八五

在宅医療のこと 酒井シヅ 総合社会保障 (一〇〇) 五二～五五 一九八五

私のたどった上皮小体の研究 瀬田孝一 内分泌外科 一(三) 三九六～四〇三 一九八五

医療に関する俳諧 山本成之助 日本医事新報 (三三〇〇) 六七～六九 一九八五

赤穂義士伝外史(一) —その医学史的散策— 木下 勤 日本医事新報 (三二二七) 五七～五九 一九八五

赤穂義士伝外史(一) —その医学史的散策— 木下 勤 日本医事新報 (三二二七) 五七～五九 一九八五

赤穂義士伝外史(一) —その医学史的散策— 木下 勤 日本医事新報 (三二二七) 五七～五九 一九八五

「診療報酬」物語

江戸時代の開業医(その五) 青柳精一 ばんぶう (四三三)

一七四～一七六 一九八五

佐藤泰然と浅田宗伯 青柳精一 ばんぶう (四四) 一六八

～一七一 一九八五

日本最初の入院料 青柳精一 ばんぶう (四五) 一七〇

一七二 一九八五

明治初期の病院と入院料 青柳精一 ばんぶう (四六) 一

七〇～一七二 一九八五

維新直後にみる医療政策 青柳精一 ばんぶう (四七) 一

七〇～一七二 一九八五

「醫制」制定による波及効果 青柳精一 ばんぶう (四八)

一七〇～一七二 一九八五

地方にみる医師社会の意識構造 青柳精一 ばんぶう (四

九) 一八六～一八八 一九八五

近代的医師制度の定立 青柳精一 ばんぶう (五〇) 一七

〇～一七二 一九八五

医療費公定化のモデル 青柳精一 ばんぶう (五一) 一八

六～一八八 一九八五

明治二十年ごろの入院料金 青柳精一 ばんぶう (五三) 一

八六～一八八 一九八五

明治二十年代の医療料金 青柳精一 ばんぶう (五四) 二

〇八～二一〇 一九八五

赤穂義士伝外史

その医学史的散策 木下 勤 福岡医師漢方研究会報 六(二)

二二～二九、(三)一八～二六、(五)二七～三四、(七)三

三～三九 一九八五

今昔物語集の中の医学(三) 白崎昭一郎 北陸医史 六(一)

二四～二六 一九八五

越後屋と養生 中西淳郎 保険医の臨床 (二五〇) 一二～二

九 一九八五

医学史に登場する動物① 酒井シヅ ラボラトリーアニマル

二(六) 四九 一九八五

“Fish Book” in Dutch-Japan Trade Minoru

OMORI 法政大学教養部「紀要」(五四) 三一～四九 一九

八五

中国語文献

中国医学史

《呂氏春秋》中の医学思想 王子漢 中華醫史雜誌 一五

(一) 一～四 一九八五

论道家思想与中医学 程宝书 中華醫史雜誌 一五(一)

五～一〇 一九八五

我国古代食疗发展史略 孟仲法、顾燕敏 中華醫史雜誌

一五(一) 一一～一四 一九八五

孔继夔的生平及其著述 顏景泰、張知寒 中華醫史雜誌

一五(一) 一五～一七 一九八五

唐代医家王焘的家世 吴振中、周文学 中華醫史雜誌

一五(一) 一八～二〇 一九八五



- 明代滇中著名医药学家兰茂 高庆瑞 中华医史雜誌 一  
 五(一)二一~二二 一九八五  
 皇甫濛故里朝那考 姜亚洲 中华医史雜誌 一五(一)二  
 四~二五 一九八五  
 "下法"的源流与述评 廖金标 中华医史雜誌 一五  
 (一)二六~二八 一九八五  
 "建昌帮"中药业简史 梅开丰、余波浪 中华医史雜誌  
 一五(一)二九~三〇 一九八五  
 新安医家对中医学的贡献及其在中国医学史上的地位 项长  
 生 中华医史雜誌 一五(一)六五~六九 一九八五  
 中国古代军医院的设立 龚纯 中华医史雜誌 一五(一)  
 七〇~七四 一九八五  
 中医学中传统医学心理学思想探讨 盛亦如 中华医史雜誌  
 一五(一)七五~七九 一九八五  
 汗法发展简史 沈舒文 中华医史雜誌 一五(一)八〇~  
 八三 一九八五  
 温病学发展史略 郭谦亨 中华医史雜誌 一五(一)八四  
 ~八八 一九八五  
 "扫叶"、"踏雪"辨 张孝芳 中华医史雜誌 一五(一)  
 八九~九一 一九八五  
 解放战争中华东战场上的伤员救治——记华东野战军伤员救治工  
 作的组织者李振湘同志 朱潮、江守黔、陈海峰、  
 胡墨林 中华医史雜誌 一五(三)一二九~一三四 一九  
 八五
- 中医学与医学地理学 杜晓阳 中华医史雜誌 一五(三)  
 一三五~一三九 一九八五  
 中凤简史 陈耀 中华医史雜誌 一五(三)一四〇~一  
 四三 一九八五  
 中医精神病学发展史略 周长发 中华医史雜誌 一五(三)  
 一四四~一四七 一九八五  
 中药鉴定学的沿革 鄧家林 中华医史雜誌 一五(三)一  
 四八~一五二 一九八五  
 皖南新四军的医药卫生工作 瞿光澄 中华医史雜誌 一五  
 (三)一五三~一五六 一九八五  
 延安革命根据地牙科简史(一九三九~一九四八) 沈彦民、  
 曾繁田 中华医史雜誌 一五(四)一九三~一九五 一九  
 八五  
 黄连史 郭成圩 中华医史雜誌 一五(四)一九六~二  
 〇〇 一九八五  
 张锡纯汇通中西医的思想 张文、贺惠芳、韩中平、  
 朱自贤 中华医史雜誌 一五(四)二〇一~二〇四 一九  
 八五  
 王叔和籍贯考察 朱鸿铭、廖子仰 中华医史雜誌 一五  
 (四)二〇五 一九八五  
 广西现代中医学学校教育 黄瑾明、黄汉儒 中华医史雜誌  
 一五(四)二〇六~二〇八 一九八五  
 从《吴医汇讲》看唐大烈的编纂思想 王明侠 中华医史雜  
 誌 一五(四)二〇九~二一一 一九八五

中西医汇通著述琐谈 江 华鸣 中華醫史雜誌 一五(四)二  
一〇二二一五 一九八五

中华医学会历届大会简介 中华医学会(张玉琴整理) 中華  
醫史雜誌 一五(四)二一六~二二二 一九八五

中华医学会医史学会成立之缘由及历届大会简介 傅 维康  
中華醫史雜誌 一五(四)二二三~二二四 一九八五近

### 近现代医学史

清末的京城官医院 朱 先华 中華醫史雜誌 一五(一)  
三一~三二 一九八五

近代著名的医事活动家裘吉生先生 陈 天祥、柴 中元、董  
汉良 中華醫史雜誌 一五(一)三三~三五 一九八五

—代学者丁福保—纪念诞生一〇周年 陆 肇基 中華醫史  
雜誌 一五(二)九二~九五 一九八五

太平天国前期的医官设置 吴 良祚 中華醫史雜誌 一五  
(二)九六~九八 一九八五

### 世界医学史

西医按摩史略 段 炼 中華醫史雜誌 一五(一)三六~  
四一 一九八五

疟疾复发机理的研究史 许 龙善、刘 心机 中華醫史雜誌  
一五(一)四二~四四 一九八五

显微镜发明史略 张 慰丰 中華醫史雜誌 一五(二)九九  
~一〇三 一九八五

从视觉科学发展史看相关学科間的渗透 李 兵 中華醫史雜  
誌 一五(三)一六一~一六八 一九八五

—九世纪对动物受精认识的重要进展 潘 承湘 中華醫史雜  
誌 一五(四)二二五~二三二 一九八五

### 少数民族医学史

科尔沁传统蒙医正骨世家简介 包 金山 中華醫史雜誌 一  
五(一)四五~四七 一九八五

试论彝族《猷药经》 贺 延超、李 耕冬 中華醫史雜誌  
一五(三)一六九~一七二 一九八五

藏文《甘珠尔·丹珠尔》“医方明”和《四部医典》(《居悉》)  
的传入蒙古及其蒙医术的反映 蓝 醒生、自 乙拉 中華  
醫史雜誌 一五(四)二三三~二三五 一九八五

文献研究

《外科理例》及汪机的外科学术思想 盛 维忠 中華醫史雜  
誌 一五(一)四八~五三 一九八五

《针灸甲乙经》成书年代和卷数考—兼谈皇甫谧的著述 孔  
祥序 中華醫史雜誌 一五(一)五四~五六 一九八五

传世珍本《保寿堂验经方》 吴 佐忻 中華醫史雜誌 一五  
(一)五七~五九 一九八五

《名医别录》作者的讨论 尚 志钧 中華醫史雜誌 一五  
(二)一二~一六 一九八五

《五十二病方》中几种药物的考释 赵 有臣 中華醫史雜誌  
一五(二)一一七~一一九 一九八五

丹溪《与处州路学录楼厘脊》介绍 冯 汉龙 中華醫史雜誌  
一五(二)一二〇~一二二 一九八五

《本草纲目》中几种会致人死命的节肢动物 王 敦清 中華

醫史雜誌 一五(二) 一二二~一二四 一九八五

《华佗神医秘传》所谓神方析源 孙 启明 中華醫史雜誌

一五(三) 一七三~一七五 一九八五

《治疹全考》簡介 張 松耕 中華醫史雜誌 一五(三) 一

七六~一七七 一九八五

中醫古籍有關脊柱損傷的論述 吳 林生 中華醫史雜誌 一

五(三) 一七八~一七九 一九八五

《古代几科疾病新论》对几科科学发展有贡献 汪 德云 中華

醫史雜誌 一五(四) 二四三~二四五 一九八五

《足臂十一脉灸经的“脉”是“经筋”吗?——与姚纯发同志商榷

毛 良 中華醫史雜誌 一五(四) 二四六~二四七 一九

八五

《五十二病方》制剂瑣谈 谈 字文 中華醫史雜誌 一五

(四) 二四八~二五〇 一九八五

### 医学交流史

《救荒本草》在日本的传播 罗 桂环 中華醫史雜誌 一五

(二) 六〇~六二 一九八五

福建古海港与中外医药交流 蔡 捷恩 中華醫史雜誌 一五

(二) 一〇四~一〇八 一九八五

我国痘科的传日及其影响 靳 士英 中華醫史雜誌 一五

(二) 一〇九~一一一 一九八五

隋唐时期中外医药之交流 李 经纬、傅 芳 中華醫史雜

誌 一五(四) 二二六~二四二 一九八五

### 文物考古

汤阴县扁鹊墓和墓碑的访查 毛 光骅 中華醫史雜誌 一五

(二) 二二五~二二六 一九八五

五岩山孙真人洞 張 金鼎、曾 鸿云、韩 宝善 中華醫史

雜誌 一五(三) 一八〇~一八三 一九八五

中国古代藏冰用冰小史 丁 鉴塘 中華醫史雜誌 一五(四)

二五一~二五六 一九八五

第三届中国科学史国际讨论会论文文献 试论中国古代之外科手

术 李经纬著、少 祺摘 中華醫史雜誌 一五(二) 七四

一九八五

美国著名生物医学史家包德默教授逝世 马 堪温 中華醫史雜

誌 一五(三) 一三九 一九八五

近代常熟医学志略 張 耀宗 中華醫史雜誌 一五(三) 一五

七~一六〇 一九八五

梁廉夫和他的医学著作 黃 瑾明、黃 汉儒 中華醫史雜誌

一五(三) 一六八 一九八五

日本医史学会第八届学术会议 成 甫 中華醫史雜誌 一

五(三) 一七七 一九八五

《李时珍先生年谱》中的几个小問題 宋 光锐 中華醫史雜誌

一五(三) 一八三 一九八五

论坛与争鸣

评《李时珍先生年谱》 郎 需才 中華醫史雜誌 一五(三)

一八四~一八七 一九八五

评《中医大辞典·医史文献分册》(试用本)医事制度部分

易 不扬 中華醫史雜誌 一五(三) 一八八~一九一 一九

- 《史載之方》非《史氏指南方》補註 萬里 中華醫史雜誌  
 一五(三) 一七九 一九八五
- 廣西石刻醫方小考 覃保霖, 覃自容 中華醫史雜誌 一五  
 (三) 一九一 一九八五
- 短篇報道
- 《山海經》醫藥記載 王育學 中華醫史雜誌 一五(三)  
 一九二~一九三 一九八五
- 浅谈《黃帝內經》关于头与軀干神经交叉現象的記述 譚世  
 珍 中華醫史雜誌 一五(三) 一九八五
- 医史上用水蛭放血最多的医生 振寰 中華醫史雜誌 一五  
 (三) 一四七 一九八五
- 日本著名医史学家小川鼎三逝世 馬埏淵 中華醫史雜誌 一  
 五(二) 六九 一九八五
- 歐文文獻
- The Fielding H. Garrison Lecture: From the old Mortality  
 Pattern to the New: Implications of a Radical Change from  
 the sixteenth to the Twentieth Century IMHOF, Arthur  
 E. Bulletin of the History of Medicine 59 (1) 1~29 1985
- Trotula, Women's Problems, and the Professionalization of  
 Medicine in the Middle Ages BENTON, John F. Bulletin  
 of the History of Medicine 59 (1) 30~53 1985
- Bacterial Physiology: The medical Context KOHLER, Robert  
 E. Bulletin of the History of Medicine 59 (1) 54~73

- Strategies that Led to the Eradication of Smallpox in Puerto  
 Rico, 1882~1921 RIGAU-PÉREZ, José G. Bulletin of  
 the History of Medicine 59 (1) 75~88 1985
- "Desirous of Improvements in Medicine?": Pupils and Practi-  
 tioners in the Medical Societies at Guy's and St. Bartho-  
 lomew's Hospitals, 1795~1815 LAWRENCE, Susan C.  
 Bulletin of the History of Medicine 59 (1) 89~104 1985
- Texts and Documents: An Unpublished Letter from Marcello  
 Malpighi MIDDLETON, W.E. Knowles Bulletin of the  
 History of Medicine 59 (1) 105~108 1985
- The Trouble with Bovine Tuberculosis ROSENKRANTZ,  
 Barbara Gutmann Bulletin of the History of Medicine 59  
 (2) 155~175 1985
- "Typhus" Fever in Eighteenth-Century Hospitals: New Approa-  
 ches to Medical Treatment RISSÉ, Guenter B. Bulletin  
 of the History of Medicine 59 (2) 176~195 1985
- Treading the Elephant's Tail: Medical Problems on the Over-  
 land Trails OLCHE, Peter D. Bulletin of the History of  
 Medicine 59 (2) 196~212 1985
- The Richard Shryock Medal Essay: The Selective Transport  
 of Medical Knowledge: Antebellum American Physicians  
 and Parisian Medical Therapeutics WARNER, John Harley  
 Bulletin of the History of Medicine 59 (2) 213~231 1985

- The Immigrant Midwives of Lawrence: The Conflict Between Law and Culture in Early Twentieth-Century Massachusetts  
DECLERCQ, Eugene and LACROIX, Richard Bulletin of the History of Medicine 59 (2) 232~246 1985
- William Osler Medal Essay: The Development of the Frozen Section Technique, The Evolution of Surgical Biopsy, and the Origins of Surgical Pathology  
JAMES R. WRIGHT, JR. Bulletin of the History of Medicine 59 (3) 295~326 1985
- The Description and Diagnosis of Leprosy by Fourteenth-Century Physicians  
DEMAITRE, luke Bulletin of the History of Medicine 59 (3) 327~344 1985
- Mayer, Jung, and the limits of Association  
LEYS, ruth Bulletin of the History of Medicine 59 (3) 345~360 1985
- Hunting the Yellow Fever Germ: The Principale and Practice of Etiological Proof in Late Nineteenth-Century America  
WARNER, margaret Bulletin of the History of Medicine 59 (3) 361~382 1985
- Notes and Comments: A Case Book of the Philadelphia Almshouse Infirmary. Dr. James Rush Attending Physician [8 October 1919 to February 1820]  
PRICE, R.M. Bulletin of the History of Medicine 59 (3) 383~389 1985
- Diversity and Professionalism in American Medical History: The AAHM in the 1980s  
CASSEDY, james H. Bulletin of the History of Medicine 59 (3) 390~394 1985
- American Association for the History of Medicine: Report of the Fifty-Eighth Annual Meeting  
ATWATER, edward C. Bulletin of the History of Medicine 59 (3) 395~404 1985
- Rocky Mountain Spotted Fever Research and the Development of the Insect Vector Theory, 1900—1930  
HARDEN, Victoria A. Bulletin of the History of Medicine 59 (4) 449~466 1985
- The Pig that Fell into the Privy: Upton Sinclair's The Jungle and the Meat Inspection Amendments of 1906  
YOUNG, James Harvey Bulletin of the History of Medicine 59 (4) 467~480 1985
- Coroner's Inquisition from the County of Cheshire, England, 1817—39 and 1877—78  
FORBES, Thomas R. Bulletin of the History of Medicine 59 (4) 481~494 1985
- Roman Lay Attitudes Towards Medical Experimentation  
FERNGREN, Gary B. Bulletin of the History of Medicine 59 (4) 495~505 1985
- Notes and Comments: Paul Barbette, M.D.: A Seventeenth-Century Amsterdam Author of Best-Selling Textbooks  
MOULIN, Danie de, Bulletin of the History of Medicine 59 (4) 506~514 1985
- Erasistratus: Student of Theophrastus?  
SCARBOROUGH, John Bulletin of the History of Medicine 59 (4) 515~517

1985

- Texts and Documents: A Further Testimony to Human Dissection in the Byzantine World BROWING, Robert Bulletin of the History of Medicine 59 (4) 518~520 1985
- Politics, Medical Education and the Control of Contagious Diseases: Sydenham Hospital of Baltimore DOWLING, Harry F. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (1) 5~21 1985
- Germans Know No Color Line: Black Health and Public Policy in Atlanta, 1900~1918 GALISHOFF, Stuart Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (1) 22~41 1985
- Lincoln University Medical Department—A Forgotten 19th Century Black Medical School SAVITT, Todd L. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (1) 42~65 1985
- H. Newell Martin—A Remarkable Career Destroyed by Neurasthenia and Alcoholism FYE W. Bruce Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (2) 133~166 1985
- Arthur Tatum, Parke-Davis, and the Discovery of Mapharsen as an Antisymphilitic Agent SWANN, John Patrick Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (2) 167~187 1985

- Neurasthenia in Pennsylvania: A Perspective on the Origins of American Psychotherapy, 1870~1910 GOSLING, Francis G. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (2) 188~206 1985
- Adoption of the Metric System by the U.S. Pharmacopoeia HIGBY, Gregory J. and SONNEDECKER Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (2) 207~213 1985
- “Consumption, heart-disease, or Whatever”: Chlorosis, a Heroine’s Illness in The Wings of the Dove MERCER, Caroline G. and WANGENSTEEN, Sarah D. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (3) 259~285 1985
- A Strange Case: The Physician Licensure Campaign in Massachusetts in 1880 BAKER, Samuel L. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (3) 286~308 1985
- Dr. Black and the “Amalgam Question” CANNON, M. Samuel, KAPES, Evelyn D. and PALKUTI, Gabriel A. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (3) 309~326 1985
- Thomas Young, M.D. (1726?~1783) and Obstetrical Education at Edinburgh HOOLIHAN, Christopher Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 40 (3) 327~

- 345 1985
- William Henry Wilch and the Antivivisection Legislation in the District of Columbia, 1896~1900 GOSSEL, Patricia Peck *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* **40** (4) 397~419 1985
- Tsarist Russia and the Bacteriological Revolution HUTCHINSON, John F. *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* **40** (4) 420~439 1985
- Patients Behind Glass Walls: The History of the Chicago Municipal Contagious Disease Hospital DOWLING, Harry F. *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* **40** (4) 440~461 1985
- Coroner's Inquests in Colonial Massachusetts MELLEN, Paul F. *Journal of the History of Medicine and Allied Sciences* **40** (4) 462~472 1985
- The Nature of Provincial Medical Practice in Eighteenth-Century England. LOUDON, Irvine *Medical History* **29** (1) 1~32 1985
- Ignaz Semmelweis, Carl Mayerhofer, and the Rise of Germ Theory CARTER, K. Codell *Medical History* **29** (1) 33~53 1985
- The edge of utility: slaves and smallpox in the early eighteenth century STEWART, Larry *Medical History* **29** (1) 54~70 1985
- The vicissitudes of herbalism in late nineteenth—and early twentieth—Century Britain BROWN, P. S. *Medical History* **29** (1) 71~92 1985
- Illustration from the wellcome Institute Library: Conrad Gesner and the English naturalists NUTTON, Vivian *Medical History* **29** (1) 93~97 1985
- Healing the sick poor: social policy and disability in Norwich 1550~1640 PELLING, Margaret *Medical History* **29** (2) 115~137 1985
- Lay medical knowledge in the eighteenth century: the evidence of the Gentleman's Magazine PORTER, Roy *Medical History* **29** (2) 138~168 1985
- The Professionalization of dentistry in the United Kingdom FORBES, Eric G. *Medical History* **29** (2) 169~181 1985
- The genesis of Edward Jenner's Inquiry of 1798: a comparison of the two unpublished manuscripts and the published version BAXBY, Derrick *Medical History* **29** (2) 193~199 1985
- Richard Owen's Hunterian lectures on comparative anatomy and physiology, 1837~55, RUPKE, Nicholas *Medical History* **29** (3) 237~258 1985
- The Thomas Hodgkin Portraits: A case of mistaken identity KASS, Amalie M. KASS, Edward H. *Medical History* **29** (3) 259~263 1985
- The Peckam experiment BARLOW, Kenneth *Medical His-*

- tory 29 (3) 264~271 1985
- Illustrations from the Wellcome Institute Library SCHUPBACH, William Medical History 29 (3) 272~317 1985
- Koch's postulate in relation to the work of Jacob Henle and Edwin Klebs, CARTER, K. Codell Medical History 29 (4) 353~374 1985
- Medicine and pharmacy in British political prints—the example of Lord Sidmouth, HELFAND, William H. Medical History 29 (4) 375~385 1985
- Dr. Frederick Montizambert (1843~1929): Canada's first Director General of Public Health BILSON, Geoffrey Medical History 29 (4) 386~400 1985
- John' Grieve's Correspondence with Joseph Black and some contemporaneous Russo-Scottish medical intercommunication APPLEBY, John H. Medical History 29 (4) 401~413 1985
- Britain's first community orthodontic scheme: for the children of Heston and Isleworth GELBIER, Stanley Medical History 29 (4) 414~432 1985
- Illustrations from the wellcome Institute Library: Medical Society of London Library FREEMAN, Eric Medical History 29 (4) 433~437 1985

- 追加・単行本
- 『緒方正規—日本の衛生学の黎明期』 野村茂 自家版 一九八五
- 『日本衛生学の黎明期と衛生学書』 野村茂 自家版 一九八五
- 『多紀氏の事蹟』 森潤三郎 思文閣出版 一九八五
- 『ボンペー—日本近代医学の父』 宮永孝 筑摩書房 一九八五
- 『保健婦の歩みと公衆衛生の歴史』 小栗史朗・木下安子・内堀千代子 医学書院 一九八五
- 『ある英人医師の暮業維新—W・ウイリスの生涯』 ヒュー・コータツツイ、中須賀哲朗訳 中央公論社 一九八五
- 『近代日本看護史』 亀山美智子 ドメス出版 一九八五
- 『日本臨床病理学会史』 日本臨床病理学会 一九八五
- 『百年の歩み(社) 明治前の日本外科略史、並びに藩政期の北陸外科について』 金沢大学医学部第一外科学教室百年史編集委員会 金沢大学医学部第一外科学教室同門会 一九八五
- 『大阪大学五十年史—通史』 大阪大学五十年史編集実行委員会 大阪大学 一九八五
- 『第一次選定医家先哲』 医家先哲推薦委員会 医道顕彰会 一九八五